

高知県立大学 健康栄養学部

学 部 報

第 10 号

令和元 (2 0 1 9) 年 度

「学部報」第10号発刊にあたって

健康栄養学部長 村上 尚

2019年末に中国湖北省を発端として顕在化した新型コロナウイルス感染症が広がり続け、2019年度末の2020年3月になる頃には、パンデミックの様相を呈しました。日本では安倍首相から、3月2日からの小中高などの一斉休校の要請が表明されています。このような状況に伴い、本学部で3月中旬に予定していたマレーシア国立サバ大学への学生の短期研修が中止となり、3月19日に予定されていた大学全体で行う卒業式・学位授与式も中止となりました。卒業式の代わりに学部・研究科別に学位授与がおこなわれましたが、卒業パーティーが中止となるなど、卒業生にとっては残念な思い出となってしまいました。

新年度に入ってから、4月2日に予定されていた入学式が中止され、4月6日に開始する予定だった授業も延期、遠隔授業として開始できたのは4月20日になってからです。さらに対面授業や学内での実験・実習が開始できたのは、6月22日でした。この間、「リモート授業」「Zoom」「Moodle」「対面授業」といった私にとって耳慣れない言葉が飛び交いました。この「リモート授業」は、一人暮らしの学生、特に1回生にとっては心身ともに負担がかかっている様です。パソコンのネット環境の問題だけではなく、大学でクラスメイトとなかなか会うことができないことが精神的に大きいのでしょう。

学部の人事に関することとしては、産学官が連携して行う『“IoP (Internet of Plants)” が導く「Next次世代型施設園芸農業」への進化』のプロジェクト職員2名が、2019年4月に採用されました。また、2020年3月末をもって、高知女子大学そして高知県立大学に40年余りに渡って勤務された川村真美助手が定年退職されました。

さて、健康栄養学部「学部報」は、毎年、健康栄養学部の取り組みを広く知っていただくための刊行物として発行してきました。健康栄養学部には、地域の生活と密着に関わった課題に取り組んでいる教員が多く存在します。本学部報でこれらの一端をご覧いただければと考えております。

健康栄養学部の教育理念・目的

(理念)

第1条 高知県立大学健康栄養学部は、高知県立大学学則第1条に定める目的を達成するため、以下の理念のもとに設置する。

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

(目的)

第2条 高知県立大学健康栄養学部は、第1条の理念のもと、以下の各号の目的を達成するために、教育研究を行う。

1. 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成

ヒトの健康を規定する人間や環境の本質を理解する能力を養成する。

2. 専門的知識・技術、科学的思考力の養成

健康の保持増進、傷病の回復、予防のために必要な専門的知識と実践的知識・技術を養成し、それらを通じて科学的思考力を養う。

3. 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成

変化する社会にあって、要求される事柄を察知し、管理栄養士として他の保健医療職者と連携を取りながら、積極的に問題を解決することのできる能力を養う。

4. 豊かな人間性を培う

自らの専門性にたちながら主体的に広く教養を身につけ、社会構成員としての求められる公共性や倫理観を養い、共生社会の実現に必要な真に豊かな人間性を培う。

5. 地域に貢献できる能力の養成

地域の特性を生かした教育・研究を通じ、地域社会の健康の保持増進、傷病の回復、予防のために貢献できる能力を養成する。

目 次

「学部報」第10号発刊にあたって	i
健康栄養学部の教育理念・目的	ii

I. 学部の記録

1. 2019年度学生数一覧	3
2. 長期在学・休学・退学の状況	3
3. 健康栄養学部教員一覧	3
4. 授業科目と教員配置	4
5. 外部資金の導入	5
6. 研究成果の公表の状況	5
7. 国内外学会等への参加	8
8. 講習会・公開講座	10
9. 地域・学外の活動	12
10. 国際交流活動	14
11. 国家試験対策委員会	17
12. 学部就職支援	19
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動	24
14. 高知医療センター・高知県立大学包 括的連携協議会 健康栄養連携部会 事業	25
15. 災害プロジェクト委員会	28
16. 委員会一覧	31
17. 入学試験状況の概要 (2020年度)	32
18. 進学説明会・本学訪問・365日オー プンキャンパス・出前授業状況	32

II. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数	35
2. 教育における学外施設の利用状況	36
3. 資格所得状況の概要	37
4. 国家試験の合格者状況 (新卒者)	37
5. 就職状況の概要	37
6. インターンシップの実施状況	37
7. 学生の海外研修等	37
8. 卒業研究題目一覧	38
9. 学生の受賞	39
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的 な事項の一覧	39

III. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 村上 尚	43
2. 稲井 玲子	44
3. 小林 淳	46
4. 渡邊 浩幸	49
5. 荒牧 礼子	51
6. 鈴木 麻希子	53
7. 西岡 道子	54
8. 島田 郁子	55
9. 竹井 悠一郎	58
10. 廣内 智子	60
11. 隅田 有公子	62
12. 竹本 和仁	64
13. 沼田 聡	65
14. 彼末 富貴	67
15. 川村 真美	68

I. 学部の記録

1. 2019 年度学生数一覧
2. 長期在学・休学・退学の状況
3. 健康栄養学部教員一覧
4. 授業科目と教員配置
5. 外部資金の導入
6. 研究成果の公表の状況
7. 国内外学会等への参加
8. 講習会・公開講座
9. 地域・学外の活動
10. 国際交流活動
11. 国家試験対策委員会
12. 学部就職支援
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動
14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業
15. 災害プロジェクト委員会
16. 委員会一覧
17. 入学試験状況の概要 (2020 年度)
18. 進学説明会・本学訪問・365 日オープンキャンパス・出前授業状況

1. 2019年度学生数一覧

() 内：男子

在学学生数						科目等履修生
1回生	2回生	3回生	4回生	5回生～	合計	
43 (5)	45 (2)	40 (5)	41 (5)	0	164 (15)	0

2. 長期在学・休学・退学の状況 (2019年度)

年次別休学者数	年次別退学者数	長期履修者数 (5～7年)
2回生 2名	2回生 2名	0

3. 健康栄養学部教員一覧

職名	氏名	専門分野 (担当科目)
教授 (学部長)	村上 尚	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち
教授	稲井 玲子	栄養教育論
教授	小林 淳	社会・環境と健康
教授	渡邊 浩幸	食品学
准教授	荒牧 礼子	公衆栄養学
准教授	鈴木 麻希子	栄養学
准教授	西岡 道子	調理学
講師	島田 郁子	給食経営管理
講師	竹井 悠一郎	臨床栄養学
講師	廣内 智子	臨床栄養学実習
助教	隅田 有公子	臨床栄養学実習・地域公衆栄養学実習
助教	竹本 和仁	生化学・栄養学実験
助教	沼田 聡	給食経営管理実習
助手	彼末 富貴	調理学実習
助手	川村 真美	食品学実験

4. 授業科目と教員配置

他学部教員・下線 非常勤・(非)

科目名	担当者
基礎科目	
健康栄養学基礎	渡邊浩幸, 沼田聡
健康栄養学応用	<u>一色健司</u>
社会・環境と健康	
地域健康論	小林淳
介護論	荒牧礼子, <u>三好弥生</u> , 竹井悠一郎
食と介護	竹井悠一郎, 荒牧礼子
保健医療福祉論	<u>田中きよむ</u>
地域医療論	小林淳
公衆衛生学	小林淳
環境衛生学実習	小林淳
健康情報論実習	荒牧礼子
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	
生化学Ⅰ	小林淳
生化学Ⅱ	小林淳
生化学実験	小林淳
人体の構造と機能Ⅰ	(非)高野康夫
人体の構造と機能Ⅱ	村上尚
臨床医科学	村上尚
疾病論Ⅰ	村上尚
疾病論Ⅱ	村上尚
運動生理学	(非)片山訓博
生体科学実験・実習	村上尚
食べ物と健康	
食品学	渡邊浩幸
食品学実験Ⅰ	渡邊浩幸
食品学実験Ⅱ	渡邊浩幸
食材学	渡邊浩幸
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸
食品衛生学	渡邊浩幸
食品衛生学実験	渡邊浩幸
フードシステム学	(非)田村安興
調理学	西岡道子
調理学実習Ⅰ	西岡道子
調理学実習Ⅱ	西岡道子
調理学実習Ⅲ	西岡道子
調理科学実験	西岡道子
基礎栄養学	
基礎栄養学	鈴木麻希子
基礎栄養学実験	鈴木麻希子
応用栄養学	
応用栄養学Ⅰ	鈴木麻希子
応用栄養学Ⅱ	鈴木麻希子
応用栄養学実習	鈴木麻希子
ライフステージ栄養学	鈴木麻希子

科目名	担当者
栄養教育論	
栄養教育論Ⅰ	稲井玲子
栄養教育論Ⅱ	稲井玲子
栄養教育論Ⅲ	稲井玲子
栄養教育論実習Ⅰ	稲井玲子
栄養教育論実習Ⅱ	稲井玲子
学校栄養指導論Ⅰ	稲井玲子
学校栄養指導論Ⅱ	稲井玲子
臨床栄養学	
臨床栄養学Ⅰ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅱ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅲ	竹井悠一郎
臨床実践栄養学	竹井悠一郎, 廣内智子
臨床栄養学実習Ⅰ	廣内智子
臨床栄養学実習Ⅱ	廣内智子
公衆栄養学	
公衆栄養学Ⅰ	荒牧礼子
公衆栄養学Ⅱ	荒牧礼子
地域公衆栄養学実習	荒牧礼子
給食経営管理論	
給食経営管理論	島田郁子
給食計画論	島田郁子
給食経営管理実習Ⅰ	島田郁子
給食経営管理実習Ⅱ	島田郁子
総合演習	
管理栄養士総合演習Ⅰ	島田郁子, 荒牧礼子, 廣内智子, 竹井悠一郎
管理栄養士総合演習Ⅱ	村上尚, 稲井玲子, 小林淳, 渡邊浩幸, 荒牧礼子, 鈴木麻希子, 西岡道子, 島田郁子, 竹井悠一郎, 廣内智子
臨地実習	
給食経営管理臨地実習	島田郁子
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	竹井悠一郎, 廣内智子
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	竹井悠一郎, 廣内智子
地域公衆栄養学臨地実習	荒牧礼子
地域実践栄養学臨地実習	竹井悠一郎, 荒牧礼子, 島田郁子, 廣内智子
その他	
企業実習	学年担当教員
課題研究	
卒業研究	各専任教員

5. 外部資金の導入

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額
2017 年度学術研究助成基金助成金（若手研究(B)） 課題番号：17K12907	臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案	隅田有公子		2017 ～ 2019	総額 4,030 千円
2019 年度学術研究助成基金助成金（若手研究(B)） 課題番号：19K14034	ハラル制度対応に向けた豚由来タンパク質に対する超高感度同時酵素免疫測定法の開発	沼田聡		2019 ～ 2020	総額 4,160 千円
科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 平成 31 年度	食用カンナデンプンの食物アレルギー予防効果と免疫機能への影響	田中守	竹井悠一郎		研究分担者 10 万円
牧野植物園受託研究	牧野富太郎博士ゆかりの有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル（牧野植物園）	渡邊浩幸	渡邊浩幸	2019	
協同研究(株式会社ファンケル)	コーン由来の ASG 含有抽出物の内臓脂肪増加と血中 LDL 上昇の抑制効果の検証	渡邊浩幸	渡邊浩幸	2019	
地方大学・地域産業創生交付金（内閣府）	“ I o P (Internet of Plants) ” が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化	受田浩之	受田浩之他	2019	
共同研究(株式会社協和、)	生姜摂取後の血流に関する研究	渡邊浩幸	渡邊浩幸	2019	
JICA 草の根プロジェクト	ラオスにおける顧みられない熱帯病 (NTDs) の 1 つ、寄生虫感染症のコントロール対策に関する保健教育支援	吾妻健	島田郁子	2019 ～ 2021	総額 9,900 千円
香南市 地産地商協議会	ニラの PR 活動	島田郁子	沼田聡	2019	200 千円
四万十町 農林水産課	トマトレシビの開発	島田郁子	沼田聡	2019	20 千円

6. 研究成果の公表の状況

(1) 学術論文

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda, Hideo Sugiyama	Simultaneous determination of Cr(III) and Cr(VI) using spectrophotometric HPLC and EDTA chelation	Int J Pharmacy Pharm Res	15, 38-49	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Foods that harm children's health	Int J Pharmacy Pharm Res	15, 65-71	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Study on drug classification and relevant professional qualifications in Japan	Int J Pharmacy Pharm Res	15, 128-35	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	What Does “100 exquisite and well-conserved waters” mean?	Int J Pharmacy Pharm Res	15, 197-209	2019

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Common beliefs regarding dieting methods in Japan and evidence-based recommendations	Int J Pharmacy Pharm Res	15, 324-35	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	The role of meals for the Japanese people in modern times	Int J Pharmacy Pharm Res	16, 90-7	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Specificity of the registered dietitian profession	Int J Pharmacy Pharm Res	16, 103-11	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Positive and negative effects of energy drinks	Int J Pharmacy Pharm Res	16, 288-95	2019
Jun Kobayashi, Yoshino Chikamori, Keiichi Ikeda, Hideo Sugiyama	Survey of microbial contamination in shared indoor footwear at university	Int J Pharmacy Pharm Res	16, 303-15	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Processing and consumption of wild animal meat or “gibier” in Japan: Safety concerns and recommendations	Int J Pharmacy Pharm Res	17, 145-55	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Cause of increase in notifications of Anisakiasis in Japan	Int J Sci Res Methodol	12, 103-10	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Current response to the problem of ocean plastic dumping in Japan	Int J Sci Res Methodol	13, 6-13	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Study on delay of earthquake countermeasures due to differences between public opinion and individual thinking	Int J Sci Res Methodol	13, 104-13	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda, Hideo Sugiyama	Determination of the enzymatic activity of S-adenosylhomocysteine hydrolase in parasites using HPLC	Int J Sci Res Methodol	14, 29-38	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Preventing heat illness in pet dogs and cats	Int J Sci Res Methodol	14, 58-65	2019
Jun Kobayashi, Miho Ishida, Keiichi Ikeda	A study on disappearance of nitrite in cat food	Int J Sci Res Methodol	14, 118-27	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Causes of different walking distances between cities	Int J Res Methodol	2, 20-5	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	A study on priority seats in Japanese public transportation	Int J Res Methodol	2, 26-34	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	A study on stealth marketing in Japan	Int J Res Methodol	2, 35-43	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	The transition of social discrimination behavior for Hansen’s disease patients in Japan	Int J Res Methodol	2, 44-52	2019
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Changes in the significance of public libraries in Japan	Int J Res Methodol	2, 152-62	2019
Masuda M, Yamamoto H, Takei Y, Nakahashi O, Adachi Y, Ohnishi K, Ohminami, H, Yamanaka-Okumura H, Sakaue H, Miyazaki M, Takeda E, Taketani Y	All-trans retinoic acid reduces the transcriptional regulation of intestinal sodium-dependent phosphate co-transporter gene (Npt2b).	Biochem J.	477(4), 817-831	2020

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
Minamizaki T, Nakao Y, Irie Y, Ahmed F, Itoh S, Sarmin N, Yoshioka H, Nobukiyo A, Fujimoto C, Niida S, Sotomaru Y, Tanimoto K, Kozai K, Sugiyama T, Bonnelye E, Takei Y, Yoshiko Y	The matrix vesicle cargo miR-125b accumulates in the bone matrix, inhibiting bone resorption in mice.	Commun Biol.	3(1), 30	2020
小林淳, 武市友, 杉山英男	高知県内の河川水成分の違い	四国公衆衛生学会誌	65, 93-6	2020
西川友加里, 小林淳, 杉山英男	トンネル内放射線量の変動	分析化学	69, 41-4	2020
S. Higaki, R. Inai, H. Hayashi	衛生管理における制度化対応の一考案—小規模給食施設—	食育学研究	13-2, 96-100	2019
鈴木麻希子, 山下成実	加工食品における添加無機リンおよび総リンの定量	日本栄養・食糧学会誌	72(3) 115-120	2019
島田郁子	大川村独自の給食体制 子どもからおとなまでおいしく!	地域活性研究	11, 157-162 (https://www.chiiki-kassei.com/)	2019
小林淳, 山手沙也香, 杉山英男	学内実習室で調理する際の空気環境評価	高知県立大学紀要健康栄養学部編	69, 1-8	2020

(2) 著書

著者	タイトル	ページ	出版社	発行年
内田明彦, 加藤雅彦, 小林淳 他	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 応用動物看護学2 公衆衛生学/動物医療関連法規 (一般社団法人日本動物保健看護系大学協会カリキュラム委員会 編)	155-197	インターブー	2019
荒牧礼子, 今井絵理, 栗山孝雄, 黒川通典, 中出麻希子, 東あかね	公衆栄養学 第1版 (荒牧礼子, 今井絵理 編)	15-32 113-121	化学同人	2020
竹井悠一郎 (多賀昌樹編著),	臨床栄養学 基礎から学べるp. (16章 筋・骨格系疾患, 17章 免疫とアレルギー疾患, 感染症担当)	224 - 243	アイ・ケイコーポレーション	2019

(3) その他、報告書等

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
荒牧礼子, 高知県人材育成検討委員	高知県行政栄養士人材育成 ガイドライン	1-25	高知県健康長寿政策課,	2019
島田郁子	健康長寿体験型セミナー in 大川村, 災害時に生きてくる日常生活の工夫 ~食事と運動~	13-18	高知県健康長寿センター 活動報告書、高知県立大学健康長寿センター	2019
島田郁子	慢性疾患を有する患者対象の料理教室	178-183	高知県健康長寿センター 活動報告書、高知県立大学健康長寿センター	2019
荒牧礼子	高知県内の医療・健康・福祉専門職者のスキルアップに資する活動報告	212-213	高知県立大学健康長寿センター	2020

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
島田郁子	第9回 JDA-DAT リーダー育成・スキルアップ研修 in 高知県.	40号 12-13	はちきん 高知県栄養士会	2020

7. 国内外学会等への参加

(1) 国際学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
Reiko Aramaki, Yukiko Sumida	Analysis of Dietary Intake Status in Young Japanese Adults by Lipid Energy Ratio Stratification.	Asian Congress of Nutrition (ACN),	Bali	2019. 8. 4~8
Reiko Aramaki	Evaluation of the health maintenance effect of plant-derived Tahibo NCD	第24回中日食育フォーラム	江蘇省 江南大学	2019. 9. 5~6
Naomi Sakuma, Ikuko Shimada, and Takashi Uemura	School Luncheon in Japan, its Food-safety System and Food-culture Education	The 33rd Conference of Bangladesh Society of Microbiologists	Dhaka, Bangladesh	2019. 12. 26
Chie Tokuhiko, Ikuko Shimada, Satoshi Numata, and Kazuko Kitamura	Case Study on Attitude and Behavior of School Lunch Officials Regarding Utilization of Local Produce-Focusing on the Difference of Occupation-	ICTEL 2020 International Conference on Teaching, Education & Learning	Dubai, UAE	2020. 2. 16
I. Shimada, C. Tokuhiko, S. Numata, T. Hirouchi, K. Watanabe, and T. Okamoto	Survival cooking as disaster education for students and local residents	ICTEL 2020 International Conference on Teaching, Education & Learning	Dubai, UAE	2020. 2. 16

(2) 国内学会開催

第78回日本公衆衛生学会，高知市，2019年10月23～25日，学術部会委員 荒牧礼子

(3) 国内学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
島田郁子, 庵原史佳, 土井麻緒, 濱田紗和, 杉本美佳子, 野本友華, 森恵美, 沼田聡	四万十トマトを活かした新メニュー開発への挑戦	第6回日本栄養改善学会四国支部学術総会	徳島大学	2019. 4. 27
稲井玲子, 檜垣俊介, 松尾達博	ラットにおけるズイナ乾燥粉末の生理作用 (1)	第73回日本栄養・食糧学会大会	静岡	2019. 5. 17~19
稲井玲子, 檜垣俊介, 松尾達博	ラットにおけるズイナ乾燥粉末の生理作用 (2)	第73回日本栄養・食糧学会大会	静岡	2019. 5. 17~19
井治賢希, 竹本和仁, 川村真美, 吉屋志朗, 大石和成, 谷本佳史, 渡邊浩幸	イタドリ葉部に含まれるポリフェノール類の定量と食品機能について	第73回日本栄養・食糧学会大会	静岡	2019. 05. 17~19
竹本和仁, 井治賢希, 川村真美, 吉屋志朗, 大石和成, 谷本佳史, 渡邊浩幸	イタドリ葉部抽出物が高脂肪食マウスに与える影響	第73回日本栄養・食糧学会大会	静岡	2019. 05. 17~19

発表者	題目	学会名	場所	開催日
荒牧礼子, 杉野友美	若年女性が考える「バランスの良い食事」について	第7回日本食育学会学術大会	福岡	2019.6.8~9
森下安子, 小原弘子, 中井美喜子, 隅田有公子, 池田光徳	「地域ケア会議評価指標」を用いた「地域ケア会議」の評価	第24回日本在宅ケア学会学術集会	宮城	2019.7.27
廣内智子, 島田郁子, 村上尚, 津野美保, 森田陽子	被災地での巡回栄養相談における避難者とのコミュニケーションのあり方	第7回日本災害食研究発表会	東京	2019.8.24
檜垣俊介, 稲井玲子, 西岡道子	小規模給食施設における衛生管理における制度化対応への一考案	第66回日本栄養改善学会学術総会	富山	2019.9.5~7
隅田有公子, 竹井悠一郎, 村上尚, 稲井玲子	高齢化率44.6%地域における高齢者の健康長寿に対する取り組み	第66回日本栄養改善学会学術総会	富山	2019.9.6
山本浩範, 石黒真理子, 竹井悠一郎, 中橋乙起, 増田真志, 竹谷豊	食餌性リンはNuclear factor-E2-related factor 2を介し酸化ストレス応答・解毒関連遺伝子の発現を調節する	第66回日本栄養改善学会学術総会	富山	2019.9.7
小林淳, 近森貴乃, 池田啓一, 杉山英男	共用上履きの微生物汚染状況調査	日本分析化学会第68年会	千葉	2019.9.11~13
荒牧礼子	検査結果に基づく児童の食生活の現状	第78回日本公衆衛生学会総会	高知	2019.10.23~25
井上晴賀, 小笠原唯, 木村藍奈, 杉本菜々世, 綿谷千夏, 稲井玲子	高知県0地域における介護保険制度に向けた栄養サポートための一考案(I)	第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会	高知	2019.10
木村藍奈, 小笠原唯, 井上晴賀, 杉本菜々世, 綿谷千夏, 稲井玲子	高知県0地域における介護保険制度に向けた栄養サポートための一考案(II)	第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会	高知	2019.10
竹井悠一郎, 山之内大, 渡邊浩幸	石灰化抑制因子ピロリン酸による動脈瘤形成の抑制効果	第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会	高知	2019.10.26~27
山田晋行, 井治賢希, 竹本和仁, 川村真美, 谷本佳史, 渡邊浩幸	肝癌細胞へのアミノ酸添加がメチル化代謝物量の変化に与える影響	第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会	高知	2019.10.26~27
竹本和仁, 井治賢希, 川村真美, 吉屋志朗, 大石和成, 田中守, 渡邊浩幸	イタドリ葉部の80%エタノール抽出物の抗アレルギー作用	第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会	高知	2019.10.26~27
弘光美桜, 鈴木麻希子	プロセスチーズの無機リン量の比較	第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会	高知市	2019.10.27
渡邊浩幸, 井治賢希, 川村真美, 山田晋行, 竹本和仁	高脂肪食マウスに対するアシル化ステロール配糖体投与による体脂肪蓄積抑制効果とそのメカニズム	第40回日本肥満学会・第37回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2019.11.02~03
竹本和仁, 井治賢希, 川村真美, 山田晋行, 渡邊浩幸	ネオクロゲン酸高含有イタドリ葉部抽出物が高脂肪食マウスに与える影響	第40回日本肥満学会・第37回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2019.11.02~03
荒牧礼子, 野々村瑞穂	男性勤労者層における10年後の体重増加に及ぼす生活習慣、食習慣要因の検討-10年間の追跡調査結果から	第26回日本未病システム学会学術総会	名古屋	2019.11.16~17
島田郁子, 沼田聡	災害時対応につながるサバイバルメシ 学生の災害時教育	第15回給食経営管理学会学術総会	愛知 名古屋文理大学	2019.11.24

発表者	題目	学会名	場所	開催日
沼田聡, 島田郁子	卵白アレルギーであるオボアルブミンに対する高感度酵素免疫測定法の開発 (第2報)	第15回給食経営管理学会学術総会	愛知県名古屋文理大学	2019.11.24
小林淳, 近森貴乃, 田中守, 池田啓一, 杉山英男	大学で使用する共用上履の微生物汚染状況調査	日本薬学会第140年会	京都	2020.3.26~28
池田啓一, 新城智也, 川崎広明, 東康彦, 小林淳, 刀祢重信, 松本孝, 山倉文幸	ペルオキシナイトライトとの反応によるトリプトファン代謝物の蛍光スペクトルの変化	日本薬学会第140年会	京都	2020.3.26~28

8. 講習会・公開講座

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
池デイ (ヴェネチア・カ・フォスカリ大学留学生)	竹井悠一郎	高知県立大学	2019.5.30	高知県立大学	池キャンパス
訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の工夫」	廣内智子	高知県立大学健康長寿センター	2019.6.19	高知県立大学	看護師
出前講座「巨大地震に備え今すべき食料備蓄」	廣内智子	高知県立大学地域教育研究センター	2019.6.22	夜須小学校	小学生
健康長寿体験セミナー・健康維持訓練 於大川村	島田郁子	健康長寿センター・大川村	2019.6.25	大川村体育館	村民
高知県行政栄養士新任研修	荒牧礼子	高知県健康長寿政策部	2019.7.12, 12.6	高知県立大学	新任期採用行政職(管理栄養士)
県大立志塾「災害時の避難所運営について」	廣内智子	高知県立大学地域教育研究センター	2019.7.20	高知県立大学	高校生
令和元年度高知県立大学オープンキャンパス 健康栄養学部体験授業 栄養学	鈴木麻希子	高知県立大学	2019.7.28	高知県立大学	高校生
女子中高生のための工業都市東予・夏の学校2019	島田郁子	新居浜工業高等専門学校	2019.8.19	新居浜工業高等専門学校	中学生, 高校生, 保護者, 教員
栄養成分表示研修	島田郁子	高知県産業振興推進部地産地消・外商課	2019.8.20 2020.2.9	池キャンパス	食品製造業者
日本における食育活動	荒牧礼子	黒竜江省科学院	2019.9.5	江蘇省江南大学	一般
域学共生れんけい拡大会議 災害×県大	島田郁子	地域教育研究センター	2019.9.12	池キャンパス	一般
2019年 域学共生れんけい拡大会議	竹井悠一郎	高知県立大学	2019.9.12	永国寺キャンパス	一般
介護食士3級養成講座「高齢者の栄養学」	隅田有公子	RKC調理製菓専門学校	2019.9.28	RKC調理製菓専門学校	調理師養成課程学生
土佐FBC人材創出事業(食品機能学)	渡邊浩幸	高知大学	2019.10.18	高知大学物産部キャンパス	FBC受講生
職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 -高齢者ケア力の向上に向けて- 「生活習慣病の治療と予防」	竹井悠一郎	高知県立大学	2019.10.19-20	池キャンパス	看護師, ケアマネージャー, 介護支援専門員

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座	島田郁子	高知県立大学	2019. 10. 20 , 2020. 2. 9	池キャンパス	看護師, ケアマネージャー, 介護支援専門員
学際的交流サロン「西日本豪雨での栄養支援活動について」	廣内智子	高知県立大学 学術研究戦略委員	2019. 10. 28	高知県立大学	教職員
進学ガイダンス	島田郁子	高知県立大学	2019. 10. 30	高知高等学校	高校生
訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の工夫」	廣内智子	高知県立大学 健康長寿センター	2019. 11. 20	高知県立大学	看護師
HACCP 管理者 HACCP 講座 (学内講習会)	渡邊浩幸	高知県立大学	2019. 11. 23 , 24, 30	高知県立大学	高知県立大学健康栄養学部2回生
いきいきセカンドライフ講座「いつまでも元気！生活習慣病予防」	荒牧礼子	公益財団法人 高知市文化振興事業団	2019. 11. 27	高知市文化ホールかるぼーと	一般
第8回慢性疾患料理教室	高知医療センター栄養局, 島田郁子, 沼田聡, 竹本和仁	高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業	2019. 12. 7	池キャンパス	慢性腎臓病患者とその家族
包括連携・健康栄養学部 FD 研修会「合同災害訓練の振り返り」	廣内智子	高知県立大学 健康栄養学部 FD 委員	2019. 12. 23	高知県立大学	高知県立大学健康栄養学部教員・高知医療センター栄養局スタッフ
「夜學」2019 食物アレルギー～一生食べられないの？	竹本和仁	本山町・高知県立大学・高知短期大学	2020. 1. 8	本山町プラチナセンター	一般
夜學 2019 体内時計と食事」	稲井玲子	本山町・高知県立大学・高知短期大学	2020. 2. 7	本山町プラチナセンター	一般
職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 -高齢者ケア力の向上に向けて- 「高齢者の食生活と住環境」	竹井悠一郎	高知県立大学	2020. 2. 8	池キャンパス	受講生
災害に強い専門職育成事業～地域特性に対応した災害対策研修プログラム開発～ 災害時の対応～食事管理を中心に～	島田郁子	健康長寿センター	2020. 2. 13	高陵病院	病院スタッフ
こうちいちばん サバイバルメシコンテスト	島田郁子	NHK 高知放送局	2020. 2. 14	池キャンパス	健康栄養学部3回生
土佐まるごと社中 (TMS) 第30回定例会 (プレゼン大会) in 室戸 基調講演「食生活がもたらす地域の活力」	稲井玲子	TMS・ココプラ	2020. 2. 22	室戸市保健福祉センターやすらぎ	会員

9. 地域・学外の活動

(1) 講師活動

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
作陽保育園父兄会	稲井玲子	作陽保育園父兄会	2019. 6. 8	作陽保育園	
国保連合会 ヘルスアップ推進員研修会	島田郁子	国保連合会	2019. 6. 19	春野文化ホールピアステージ	一般行政
第10回食育活動発表大会	島田郁子 (審査員)	(株) サニー マート	2019. 6. 20	ちより街テラス	社員 一般
JDA-DAT (日本栄養士会災害支援 栄養士) スタッフ育成研修	島田郁子	高知県栄養士会	2019. 7. 14	池キャンパス	高知県栄養士会 会員
れんけいこうち人づくり塾 高 知市防災士養成講座	島田郁子	高知市	2019. 7. 18	あんしんセンター	一般
令和元年度栄養教諭・学校栄養職 員研修B	島田郁子	大阪府教育センター	2019. 8. 5	大阪府教育センター	栄養教諭 学校栄養 職員
保育士等キャリアアップ研修	稲井玲子	高知県	2019. 8. 22	高知市文化プラザ	保育士等
香美市地域の集いリーダー研修 会 (災害への備え)	島田郁子	香美市社会福祉協議会	2019. 8. 23	香美市社会福祉協議会	地域住民
日本栄養士会 JDA-DAT リーダ ー・スキルアップ養成研修	島田郁子	日本栄養士会	2019. 9. 21- 23	池キャンパス	日本栄養 士会会員
くらしの植物教室②「酢みかん しぼり～ゆず酢を作ってみよ う!～」	彼末富貴	高知県立牧野 植物園	2019. 10. 19	高知県立牧 野植物園	一般
高知市合同防災訓練災害食教室	島田郁子	高知市	2019. 10. 27	鏡川河川敷	地域住民
日本食育学会 生活リズム と食のセミナー	稲井玲子	日本食育学会 会議	2019. 11. 3	早稲田大学	
災害時における園児への栄養・食 生活支援	廣内智子	高知県保育士 会給食部	2019. 11. 5	ふくし交流 プラザ	保育士
高知県防災士養成講座	島田郁子	高知県防災対 策課	2019. 11. 10 12. 1, 12. 8 12. 15	四万十市 安芸市, 香南 市, 高知市	地域住民
災害に備えた非常備蓄食の考え 方	廣内智子	高知県立県民 文化ホール	2019. 11. 30	須崎市役所	一般市民
第4回栄養・食事と腎のセミナー 「リンの話 ～有機リン・無機リン～」	鈴木麻希子 植田一穂 雑賀保至	高知県臨床栄 養研究会	2019. 12. 1	高知県立大 学	慢性腎臓 病患者, 医療従事 者等
東葛城高齢者大学講座「アンチエイ ジング」	荒牧礼子	大阪ガスグル ープ福祉財団	2019. 12. 13	葛城上地区 公民館	一般市民
潮江東小学校5年「土佐の雑煮」 の学習	彼末富貴	高知市立潮江 東小学校	2019. 12. 16	高知市立潮 江東小学校	潮江東小 学校5年生
高知県栄養士会生涯教育実務研 修会 「研究方法・研究発表」	竹井悠一郎	高知県栄養士 会	2019. 12. 21	池キャンパス	日本栄養 士会会員
災害食教室	島田郁子	高知県栄養士 会	2020. 1. 18	かるポート	森永ヒ素 ミルク患 者の会 会員
ソーレまつり 2020 親子でご飯づ くり～魚を3枚におろしてみよ う～	彼末富貴	男女共同参画 ポレール	2020. 1. 25	こうち男女 共同参画ソ ーレ	一般親子

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
牧野植物園ボランティア懇親会 「高知の食文化について」	彼末富貴	高知県立牧野 植物園	2020. 2. 11	高知県立牧 野植物園	牧野植物 園ボラン ティア
第 33 回高知県国保地域医療学会 特別講演	島田郁子	国保連合会	2020. 2. 22	くろしおホ ール	国保関係 者

(2) 高大連携・地域との共同事業

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
出前授業	小林 淳	さんぼう	2019. 6. 19	土佐女子高校
進学ガイダンス	小林 淳	日本ドリコム	2019. 6. 19	ザ・クラウンパ レス新阪急高知
出前講座	竹井悠一郎	岡山県立一宮高等学 校	2019. 6. 19	岡山県立一宮高 等学校
出前講座「食べ物は体の中でどう なるの？」	沼田 聡	愛媛県立松山中央高 等学校	2019. 7. 4	愛媛県立松山中 央高等学校
JDA-DAT スタッフ養成研修	島田郁子 廣内智子 隅田有公子 沼田聡	高知県栄養士会	2019. 7. 13- 14	高知県立大学
退院支援事業「第 2 回多職種協働 研修」	廣内智子	高知県立大学健康長 寿センター	2019. 7. 16	高知城ホール
進路ガイダンス学部説明「高知県 立大学健康栄養学部について」	隅田有公子	岡山県立西大寺高等 学校	2019. 7. 24	岡山県立西大寺 高等学校
とさっ子健診	荒牧礼子	とさっ子プロジェク ト	2019. 7. 31	USA くろしおセ ンター
とさっ子健診	荒牧礼子	とさっ子プロジェク ト	2018. 8. 18,	土佐市保健セン ター
とさっ子健診	荒牧礼子	とさっ子プロジェク ト	2018. 8. 26	土佐市保健セン ター
退院支援事業「第 4 回多職種協働 研修」	廣内智子	高知県立大学健康長 寿センター	2019. 9. 12	高知城ホール
6 年生交流学習 (COME☆RISH)	島田郁子	南国市立十市小学校 COME☆RISH	2019. 10. 15	池キャンパス
健康長寿センター10 周年事業	荒牧礼子	高知県立大学健康長 寿センター	2019. 10. 22	高知県立大学
退院支援事業「第 4 回多職種協働 研修」リアルカンファレンスの管 理栄養士役	廣内智子	高知県立大学健康長 寿センター	2019. 10. 29	高知城ホール
健康長寿体験型セミナー「認知症 になっても安心して暮らせる町 づくり」	荒牧礼子	高知県立大学健康長 寿センター	2019. 11. 8	田野町老人福祉 センター
大学説明	小林 淳, 竹 本和仁	高知県立大学健康栄 養学部	2019. 12. 5	高知県立嶺北高 校
出前講座「管理栄養士ってな に？」	沼田 聡	さんぼう	2019. 12. 5	愛媛県立西条高 等学校
とらじお「備蓄について」	廣内智子	NHK 高知放送局	2020. 2. 3	NHK 高知放送局

10. 国際交流活動

竹井悠一郎

昨年度（2018年度）から国際交流センター員として、国際交流の運営に携わっている。2年目の今年度は、2019年11月下旬に発生した新型コロナウイルスの感染によるCOVID-19が世界的に流行し、学内で予定していた国際交流事業の一部が中止となる異例の年であった。

学部内の国際交流は、国際交流ワーキンググループのメンバー（村上、稲井、小林、渡邊、荒牧、島田、竹井、竹本）を中心に、全学部教員で対応した。また、今年度は韓国の慶南科学技術大学から長期留学生1名を学部で受け入れた。

1. 活動報告

1) 池デイ

毎年、本学永国寺キャンパスで学んでいる短期・長期留学生を対象に、留学期間中、池キャンパスでの交流活動の日として「池デイ」を設け、池キャンパス3学部の学生および教職員との交流が行われている。今年度は、アメリカのエルムズカレッジから9名の学生を迎え、近年、アメリカでも健康食品として認知されている『豆腐』作りにチャレンジした。

開催日時：令和元年5月30日13時00分～14時30分

参加者： アメリカ エルムズカレッジ学生9名 教員2名
健康栄養学部4回生8名、3回生3名 教員1名（竹井）
国際交流課職員3名

テーマ： 豆腐作りを体験しよう。



2) マレーシア サバ大学との国際交流

2012年11月に本学健康栄養学部とマレーシア国立サバ大学食品科学・栄養学部（以下、FSMP）との間で国際交流協定が結ばれて以来、FSMPと健康栄養学部の間で、交換交流が継続して行われている。また、今年度4月末にFSMPとの大学間協定（MoU）が、無事再締結された。

【受入】短期研修生としてFSMP学生7名を受け入れた。

研修期間：令和元年7月8日（月）～令和元年8月2日（金）*

*高知滞在期間は、7月6日から8月3日まで。

研修内容： 学部内の授業（生化学実験、給食経営管理実習、調理学実習、基礎栄養学実験、臨床栄養学など）に参加してもらい、学部生との交流を図った。その他、学部研究室紹介や、今

年度から文化学部のヨース先生とそのゼミ生に協力してもらい、『永国寺デイ』を開催するなど、学内の授業・研修を増やし、学内の教員や学生と触れ合う機会を多くした。高知県立大学を知ってもらう機会になったと感じている。また、FSMPの研修生たちからも、自分たちが行った卒業研究を発表してもらう機会を設け、学術的な交流も行った。

学外実習としては、高知医療センターや介護施設とさの里への学外訪問、高知ぢばさんセンターで開催された第1回ふくし総合フェアへの参加を通じて、日本の医療・介護の現状をみてもらった。また、COME☆RISHのサークル活動（中土佐町）や本学国際交流クラブ主催のバスハイク（室戸方面）などにも参加し、県内各地を訪れる機会も設けた。



サバ学生の卒業研究発表にて



高知観光として龍河洞へ

【派遣】短期研修生として健康栄養学部から学生7名（引率教員1名）がサバ大学へ行く予定であったが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い、今年度の派遣は中止となった。

3) 慶南科学技術大学校からの長期留学生の受入

昨年度から本学では、慶南科学技術大学校の学生の長期受け入れを行っている（昨年度は文化学部）。本年度は、慶南科学技術大学校薬学部の4年生 Seo Yujin さんが当学部にて半年間、長期留学生として、健康栄養学部専門科目などに参加した。

研修期間：令和元年10月1日（火）～令和2年3月30日（月）*

*正確には、本人の日本滞在許可証が遅れたため、10月17日（木）に来高。

2月21日（金）の長期交換留学生報告会・修了証書授与式をもって、研修は修了した。



授業への参加



修了証書授与式

2. 今後へ向けて

昨年度に比べ、今年度は例年のサバ大学の国際交流だけでなく、慶南科学技術大学から長期交換留学生を受け入れるなど、国際交流の場が増えた。また、本学が台湾の開南大学と大学間協定を結ぶなど、今後も国際交流の場が増えてくることが予想される。一方で、2019年度末からの新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、多くの国際交流の機会が失われた。実際、当学部からのサバ大学短期派遣は中止された。不測の事態に備え、準備を十分しておく必要があることを痛感した一年であった。これらを踏まえ、今後の当学部の国際交流を支えていきたい。

11. 国家試験対策委員会

廣内智子, 竹本和仁

I. 主な活動内容

3回生及び4回生を対象に全国統一模擬試験を本学にて7回実施しました。3回生では苦手分野の把握を目的に、4回生では合格点120点以上を目標に実施しました。模擬試験終了後には、成績が伸び悩む学生を対象に個別面談を複数回実施し、今後の勉強方法についてアドバイスをを行いました。さらに、外部講師による国家試験対策講座を年3回（無料1回、有料2回）実施した。学生は積極的に講座に参加し、苦手分野の解き方や勉強方法を身に付け、苦手科目の克服を目指しました。また、4回生を対象に苦手科目や強化したい科目などのアンケート調査を10月に行い、結果をもとに学部教員による国家試験対策講座を1月に開講しました。各科目担当教員が基礎的内容から国家試験問題の解説まで徹底指導に取り組みました。その他、国家試験受験願書記入説明会等を開催し、合格までのサポートを行いました。

II. 国家試験対策（令和元年度 活動内容一覧）

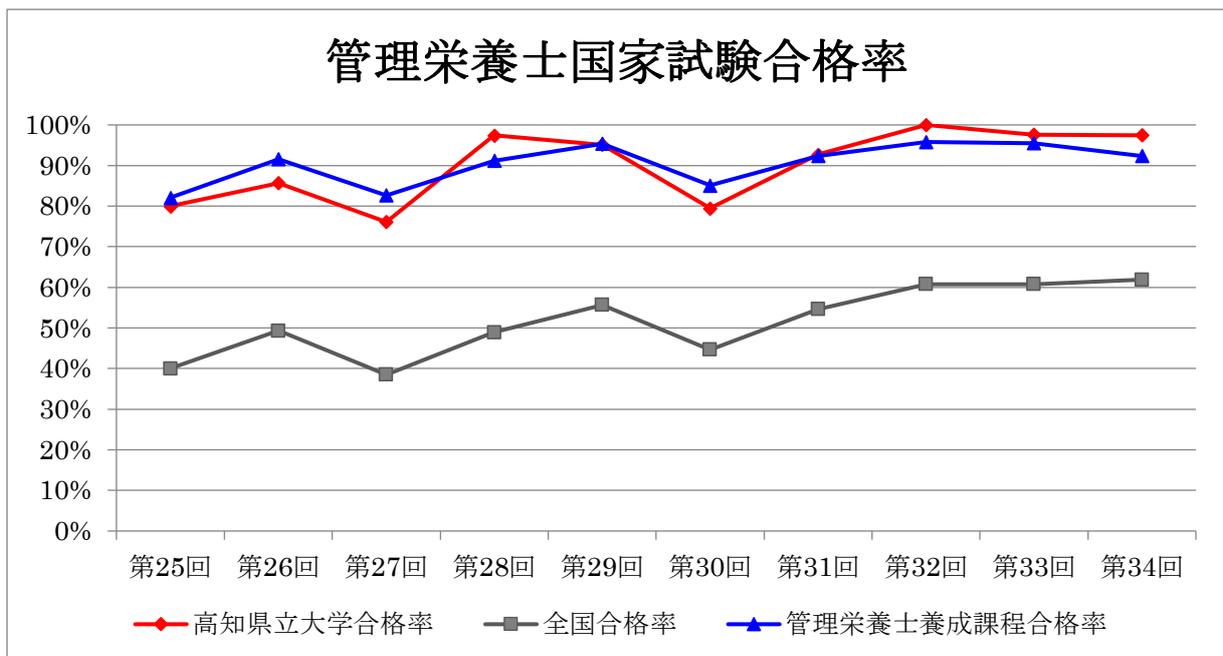
実施日	内容	3回生	4回生	合計
6月22日（土）	全国統一模擬試験 （第1回 RDC 管理栄養士センター）	39	41	80
6月15日（土）	RDC 特別講演会（無料） 講師：細川雅和先生（RDC センター）	29	36	65
7月27日（土）	全国統一模擬試験 （第1回日本医歯薬研修協会）	0	37	37
9月14日（土）	全国統一模擬試験 （第2回日本医歯薬研修協会）	0	36	36
9月28日（土）	RDC 秋期基礎対策講座（有料） 講師：細川雅和先生（RDC センター）	6	14	20
10月19日（土）	全国統一模擬試験 （第2回 RDC 管理栄養士センター）	39	40	79
11月23日（土）	全国統一模擬試験 （第3回日本医歯薬研修協会）	0	40	40
1月11日（土）	全国統一模擬試験 （第3回 RDC 管理栄養士センター）	39	40	79
2月8日（土）	全国統一模擬試験 （第4回日本医歯薬研修協会）	0	40	40
2月9日（土）	RDC 超直前対策講座（有料） 講師：細川雅和先生（RDC センター）	1	11	12

Ⅲ. 第 34 回管理栄養士国家試験の結果について

実施日 : 令和2年3月1日(日)
 合格発表 : 令和2年3月27日(金)
 受験者数 : 40名
 合格者数 : 39名 合格率 : 97.5%

過去10年の合格率

年次	高知県立大学			全国合格率	管理栄養士養成課程 (新卒) 合格率
	受験者数	合格者数	合格率		
2011年(第25回)	20	16	80.00%	40.0%	82.1%
2012年(第26回)	21	18	85.70%	49.3%	91.6%
2013年(第27回)	21	16	76.10%	38.5%	82.7%
2014年(第28回)	38	37	97.40%	48.9%	91.2%
2015年(第29回)	41	39	95.10%	55.7%	95.4%
2016年(第30回)	39	31	79.49%	44.7%	85.1%
2017年(第31回)	41	38	92.68%	54.6%	92.4%
2018年(第32回)	41	41	100.00%	60.8%	95.8%
2019年(第33回)	42	41	97.6%	60.4%	95.5%
2020年(第34回)	40	39	97.5%	61.9%	92.4%



12. 学部就職支援

川村真美, 渡邊浩幸

1. 活動内容

1) 学部の取り組み

平成20(2008)年度より学部独自に2名の就職担当教員を配置し、就職支援に取り組んでいる。3回生の時期から、学生に就活の状況を聞き、希望職種を把握し、相談にのり、前向きに進展するように声掛けした。またキャリアセンターの就職相談員とも連携をとり、就職に関する指導と支援をしている。就職担当教員は、学部主催の就職セミナーを企画・立案・実施した。各学生の卒業研究指導教員は、就職に関する相談も受け、指導し激励し支援を行っている。学部就職担当教員は、卒業研究指導教員や学年担当教員などと連携して、教員間で連絡を取り、求人情報の提供なども行い、学生の就職活動の活性化を促した。学部教員は、申し出のあった学生の就活提出書類の添削・指導も行っている。また、就職担当教員は、ワクワク Work!!(キャリアセンターの愛称)主催の就職ガイダンスやセミナーへの積極的な参加を促している。学生が希望する職種に就職した卒業生をその学生に紹介し、就職先や受験勉強対策について直接相談する橋渡しの役目も行っている。健康栄養学部学生は、2019年4月から2020年3月15日までに実施されたワクワク Work!!主催の就職ガイダンス・セミナー・会社説明会などのうち、22講座に延べ209名が参加した。

【学部主催就職セミナー】

健康栄養学部では、2名の就職担当教員の企画立案により、平成20年度より学部主催の就職セミナーを開催しており、令和元年度も2回開催した。健康栄養学部学生を対象として、社会で活躍している卒業生5名を講師に招いて10月に、就職が内定した4回生5名を講師に1月に実施した。2回の周世峪セミナーともに各講師から全体に体験談を話してもらったあと、職種ごとに教室に分かれ、在学生からの質問に答えてもらう小グループでの個別質問タイムを設ける形式で行った。学生が聞きたいことを質問しやすいような実施を心掛けた。2回とも3回生は100%と全員が参加、1・2回生も70%以上が参加し、参加率は非常に高かった。参加感想アンケート結果をみると、学部就職セミナーは就職活動の活性化につながり、下級生が就活の進め方、情報収集の仕方などを知る機会となっている。また就活への不安を軽減するだけでなく、自分のやりたい職種を絞るきっかけになり、日々の授業の重要性を認識し、管理栄養士国家試験勉強を早期に始める動機付けとなっていると思われる。学生にとって、将来の仕事・就職活動・日々の勉強・学生生活について真剣に考える貴重な機会になっていると感じる。下記にその詳細を示す。

●令和元年度第1回 健康栄養学部就職セミナー ～卒業生を迎えて～

2019年10月13日(日)9:00~12:30

講師：健康栄養学部卒業生5名

平成30年度卒

杉野 円香さん (JMC株式会社 管理栄養士)

長田 梨沙さん (サラヤ株式会社 食品衛生インストラクター)

平成26年度卒

伊帳田 蘭さん (日本赤十字社 益田赤十字病院 管理栄養士)

林 瑠璃さん (高知県の町立伊野南小学校 栄養教諭)

明神 春花さん (高知県幡多福祉保健所 管理栄養士)



社会で活躍している卒業生が講師を務め、仕事の内容や就活での経験や管理栄養士国家試験の勉強法などを発表し、質問タイムで学生の相談に乗り、アドバイスをしてくれた。それぞれの職種について学生の理解が深まる機会となった。



参加数：1回生 41名(98%)、2回生 35名(77%)、3回生 40名(100%)、教職員 5名、ワクワク職員 3名、参加総数 124名。1・3回生の参加率は非常に高く、質問も活発にあった。

参加の感想として、1回生(非常に良かった59%、良かった24%)、2回生(非常に良かった42%、良かった55%)、3回生(非常に良かった76%、良かった24%)であり、「非常に良かった」と「良かった」の割合が非常に高いと言えた。

個々の感想

3回生

- ・企業はあまり考えていなかった分野で、こういう働き方・働き口もあるということで選択の幅が増えた。
- ・就活についても、国試対策についても、実際にどんな方法で、どういうことが役に立ったかなど、詳しく知ることができ、また、企業を考えるにあたってのポイントなどを聞くことができ、積極的に行動していこうと思った。
- ・自分から病院へ個人的に実習の申し込みをしていた話を聞き、自分から動くことが大切だと分かった。貴重な機会になり、勉強のモチベーションになった。
- ・講師すべての方から仕事のやりがいをお聞きすることができ、将来どのような仕事に就きたいか、自分に向いている仕事は何かをしっかりと自分に向きあうことで考えていきたいと思った。
- ・自己分析、企業分析についてお聞きし、今から何かしようという気持ちになった。
- ・“自己分析と企業分析をしっかりすること” “内定がもらえなくても縁がなかったと切り替えた”とおっしゃっていて、ポジティブに自分にできることを1つずつやっていこうと感じた。
- ・「食」は人を良くするというので、食に関わる仕事につくことに改めて自信をもつことができた。
- ・市町村から委託を受けて保健事業を計画する企業の仕事というのは、今まで聞いたことがなかったのでも勉強になった。

2回生

- ・社会人1年目の先輩と経験を積んだ5年目の先輩、それぞれのお話を聞いたことがよかった。
- ・現時点で自分が何をすべきなのか、よく考えさせられた。今後自分がどの職に就きたいのか分析していきたい。このセミナーを通じて向上心を高めることができ、とても良い時間となった。
- ・どんな時期にどんな活動をしていたのかなど、具体的なことを知ることができて良かった。やっておくべきことなど、とても参考になった。
- ・行政管理栄養士はまったく内容を知らなかったのですが、高度な業務内容に刺激を受けました。

1回生

- ・各職種の仕事や、それぞれのやりがいなどを知ることができて、話を聞いただけだが、少し自分の将来つきたい職業の幅を絞ることができた。
- ・行政管理栄養士について何も知らなかったのでも、お話はとても有り難かったです。わかりやすく、すばらしいプレゼンでした。

- ・就職や国家試験について、「まだ先だから」と考えず、今から意識して勉強し、知識をつけていこうと思った。
- ・日頃の授業はいちばん大事ということを知り、もっと集中して授業を受けようと思いました。
- ・3回生から就活が始まり、早く準備をしないといけないと思った。1回生の間から話が聞けてよかった。
- ・普段の授業を大事にするということを知り、自分にとっても刺さりました。
- ・国試対策や就活のタイミングなどを詳しく教えてもらえて、良かったです。

●令和元年度第2回健康栄養学部就職セミナー

～健栄 教えて！先輩～

2020年1月17日(金)14:00～17:00

講師：4回生就職内定者5名

井上 晴賀さん(高知県 栄養教諭)

堀川 みなみさん(富山県 行政管理栄養士)

杉田 晴輝さん(一般企業 総合職)

畠中 麻弥さん(ドラッグストア 管理栄養士)

福留 叶子さん(病院 管理栄養士)



内定を勝ち取った4回生5人が、就活の流れや対策、その職種を選んだ理由、管理栄養士国家試験対策の勉強法などを発表し、質問タイムで下級生の相談に乗った。

参加数：1回生40名(93%)、2回生35名(81%)、3回生40名(100%)、教員6名、ワクワクwork!!職員2名、参加総数123名。

参加の感想として、1回生(非常に良かった53%、良かった45%)、2回生(非常に良かった57%、良かった36%)、3回生(非常に良かった90%、良かった10%)であった。

「非常に良かった」および「良かった」の割合が極めて高かった。



熱心にメモをとる学生

個々の感想

3回生

- ・病院管理栄養士になる方の国試の勉強順序などがとても参考になりました。毎日1時間でも勉強する時間を創るように心がけようと思いました。
- ・自分で自分の道を選んで、その道で頑張っていきたいと思えた。そのために今やるべきことをしっかりやって万全に備えていきたい。
- ・どの方の発表からも、目指す職種は違えど、希望の就職先への意欲的な取り組み、姿勢に、自分ももっと積極的に取り組もうと感じました。企業やドラッグストアの就職で少しずつスケジュール的な面でも想像ができて良かったです。
- ・就活のスケジュールや気を付けることなどが聞けて、気が引き締まった。
- ・自分の性格上、面接で緊張して固くなってしまおうと思うが、面接は愛嬌という話を聞いて面接に対する気持ちが変わった。

2 回生

- ・全員の話を聞いて、1、2、3 回生でどの職業がいいと考えても、実習などで変わることが結構あるんだということを考えた。だから、実習先や実習の課題など自分なりに何か意義を考えたり、授業の一環以上に見出せるように努力したいと感じた。
- ・病院管理栄養士になる方の発表を聞いて、自分の軸を持つと思いました。何でも早めに取り組んだ方がいいと思うので、テストが終わったら苦手な教科の復習から始めようと思いました。
- ・行政管理栄養士になる方が、国試の勉強を2回生の10月から始めていたということ話をされていて、自分の今の勉強に対する姿勢が甘いと感じた。
- ・面接は愛嬌というところがとても印象的で、確かにそうだと納得した。今すぐ行きたい企業がある訳でないけれど、面接のときは愛嬌を大切にしたい。

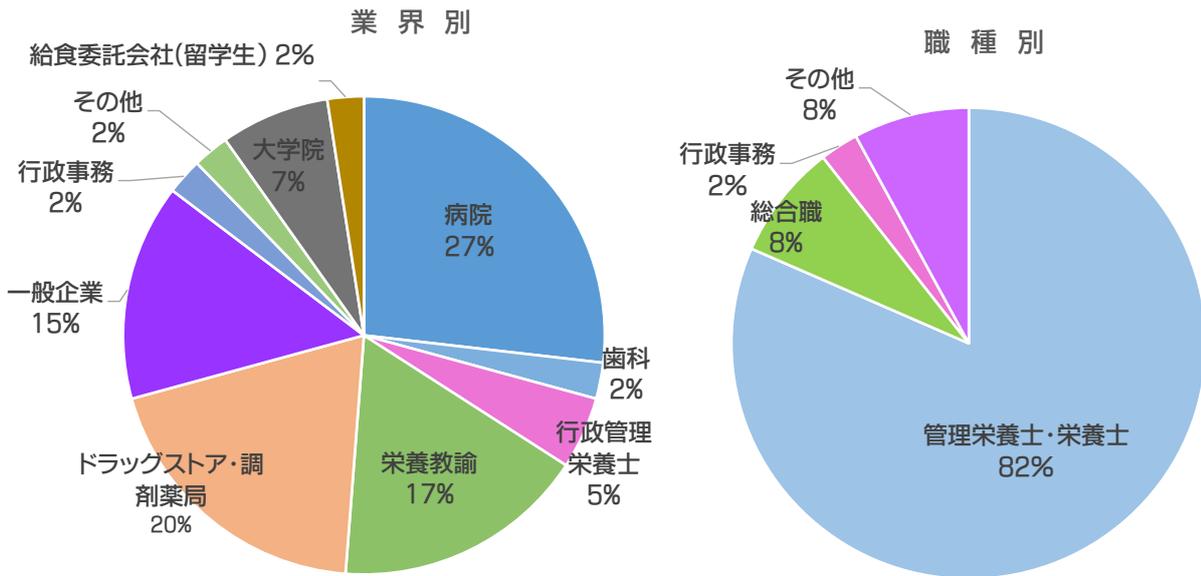
1 回生

- ・病院管理栄養士になる方の話では、実習を通して病院で働くことが自分のやりたいことであると言っていたので、色々な場所に実習、見学、インターンシップに行き、自分に合う職業を目指したいです。また他の方がワクワク work に相談することを勧めていたので、参考にしたいです。すべて早めに取り組み、色々な経験を積みたいです。
- ・行政管理栄養士になる方の話で、まだどこに就職するか決まっていなくても、国試対策は早めにやった方がいいという内容が刺激をもらった。
- ・病院という選択肢しか考えていなかったけれど、新しい選択肢を見つけられました。
- ・就活を終えたばかりの先輩の話聞くことが出来てよかったです。
- ・皆さん早目の勉強開始や対策をすべきと話されていて、私も早め早めの行動を心掛け、焦って追い込むことにならないようにしたいと思いました。まだ1回生と思わず、今から少しずついろんな体験をしたり調べたりしておきたいです。

2. 成果

令和元年度の卒業生は41名で、就職希望が38名、進学が3名であった。就職内定率は100%であった。ワクワク Work!!職員・ジョブサポーター・学部就職担当教員・卒業研究担当教員・学年担当教員の連携した支援・個別指導が学生のやる気を引き出し、内定を取ることに繋がったと考えられる。卒業時に管理栄養士の資格を活かさない就職先を希望する学生もいるので、そのような学生には、卒業生が一般企業から管理栄養士職に転職する場合がある実情を話し、将来意識が変わる可能性もあることを話し、国家試験を受け管理栄養士の資格を取得するように勧めた。学部独自の就職セミナーを開催し12年目となり、学生に好評のセミナーとなり、学生の参加率が毎年非常に高い。感想を見ると、就職活動の活性化、内定の獲得に効果を上げていると感じる。就職活動での成果ばかりでなく、いかに日々の授業での勉強が大切かに気付く機会にもなっていると思われる。就職セミナーでの発表の中で、講師の卒業生や4回生がワクワク Work!!の就職ガイダンスに積極的に参加したほうがよいとたびたび話してくれることもあり、令和元年度も3回生は積極的に就職ガイダンスやセミナーに参加するようになり、4回生での就活本番に向けての準備がより早く整ってきていると思われた。また、4回生はワクワク Work!!に相談や模擬面接に行く回数も多くなっている。ワクワク Work!!の利用への流れがよりスムーズになってきているのを感じている。また下級生の頃から就職に迷いがある学生は、個人的に就職担当教員に相談に来ている。

下記に、内定先の業界別および職種別内訳を示す。



3. 令和2年度の課題

卒業後の進路決定・就職は、学部の大きな役割の一つである。健康栄養学部就職支援担当教員は、キャリアセンター(ワクワク Work!!)と密に連絡を取り合い、情報を共有して、令和元年度卒業生も就職内定率100%を達成した。キャリアセンター職員は、学生一人ひとりの性格に合ったきめ細かい就職支援をし、模擬面接などを行うなど手厚くサポートしており、就職内定率100%になったのもキャリアセンター職員のサポートによるところが大きい。キャリアセンターのもつ役割は大きく、本学部学生も篤い信頼を寄せている。

今後も健康栄養学部就職担当として、学生それぞれの考えや希望を直接個別聞き、キャリアセンターと連携を図り、学部就職担当教員・卒業研究指導教員・学年担当教員およびキャリア支援委員の協力体制をより充実させ、学生一人ひとりの個性に合った個別指導をしていくことが重要と考える。また、学生に就職に対する動機づけとなり刺激を与えている学部主催の就職セミナーを継続することは意義あることと考えている。

教員の授業向上・教育力向上等のための健康栄養学部 FD 研修会

日時：2019年12月23日(月) 17:30～18:30

場所：本部・健康栄養学部棟 A318 教室

参加者：健康栄養学部教員13名、高知医療センター栄養局3名

内容：合同災害訓練の振り返り

1. テーマ：高知医療センター栄養局の訓練活動について
報告者：坂本一美
2. テーマ：高知県立大学健康栄養学部の訓練活動について
報告者：廣内智子

概要

2019年12月15日(日)の高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練の活動を振り返り、栄養局の活動と健康栄養学部の活動の情報共有及び意見交換を行いました。

高知医療センター栄養局の訓練では、職員へアルファ化米を提供する訓練、さらに、日清医療食品スタッフ管理栄養士と連携して、各フロアパントリー及びセントラルキッチンの被災状況を集約し、定期的(発災後、20分後、30分後、1時間後)に本部へ状況報告するといった訓練活動が報告されました。高知県立大学の教員からは、食物アレルギー患者への対応はどうしているのか、アルファ化米に入れるお湯の熱源はどうなっているのかなどの質問があり、意見交換が行われました。

高知県立大学健康栄養学部の訓練報告では、外来患者役の教員、医療救護活動を行った教員、本部要員としてトランシーバーで現場と連携した教員、アルファ化米の提供を担当した教員、汁物の提供を担当した教員、巡回栄養相談を担当した教員らが、それぞれ気づいた反省点や今後の課題について報告しました。また、今年は初めて巡回栄養相談に栄養局スタッフが参加されたことから、大学と良い連携が出来たとご意見を頂きました。本研修会では、参加者のご意見及びアンケート集計結果から様々な課題が見えました。これらの課題は、合同災害訓練の改善につなげていきたいと思えます。



14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業

島田郁子, 沼田聡, 竹本和仁

慢性腎臓病 (CKD) 料理教室

開催日時: 令和元年 12月7日 (土) 10:00~13:00

開催場所: 高知県立大学 本部・健康栄養学部棟 1階 調理学実習室

対 象: 慢性腎臓病 (CKD) 治療中の患者さんやご家族など

参加者数: 11名

献 立: 慢性腎臓病 (CKD) 患者さんのための食事療法手引き 改訂版より冬献立

スタッフ: 高知県立大学健康栄養学部 3名 (島田 沼田 竹本)

高知医療センター栄養局職員 4名 (十萬次長 吉松 岡 宇賀)

健康栄養学部 3回生 5名 (上野 白石 瀬戸口 濱島 和田)

1. 事業概要

慢性腎臓病 (CKD) 患者およびその家族を対象に、実習をとおり腎臓病の知識と、家庭で手軽にできる料理を学ぶことを目的に開催するものである。高知医療センター・高知県立大学包括的連携健康栄養連携部会では、これまで生活習慣病、糖尿病等テーマを設けて料理教室を行っており、今回で8回目の開催となった。今年度は、平成 25 年度に同部会で作成した「慢性腎臓病 (CKD) 患者さんのための食事療法手引き」のレシピ集を大幅に改訂したものをうい、冬の献立である昼食と夕食を各班に分かれて調理、試食し、その後振りかえりを行った。朝食については、サンプルとして調理したものを見てもらった。

2. 活動成果

高知医療センター栄養局の吉松管理栄養士による腎臓病についての講義の後、各班 2~3 人ずつに分かれ、各班にスタッフ・学生が 1 人ないし 2 人は付くようにして調理を行った。

高知新聞の取材も行われ、令和元年 12 月 19 日付朝刊に掲載された。

昼食: ごはん、揚げ鶏のみぞれ煮、小松菜あえ物、キャベツのカレーマヨ炒め

夕食: ごはん、たらとほうれん草のグラタン、金平蓮根、かぶのなます

朝食 (サンプルとして提示) : ごはん、ブロッコリーのおかか和え

白菜と油揚げの味噌汁

間食 (サンプルとして提示) 大学いも

和気あいあいとした雰囲気の中、料理を完成させることができた。

3. 活動評価

回答者 11 名のアンケート結果から、味や量について 11 名中 10 名がちょうどよいと回答していた。参加者全員が、食事療法の必要性についてよく理解できたと回答しており、講義と実習の流れで、食事療法の必要性が伝わったと考えられた。

また、次回も時間があれば参加したいと参加者全員が回答していた。

【自由意見・感想】

・希望としましては、もう少し気温の高い季節にしていただけると、とてもありがたいと思います。

- ・たんぱく質の計算が難しく毎日が大変でしたが、今日の教室で少しわかりました。本当にありがとうございました。
- ・試供品として低たんぱく米があれば食べてみたい。水加減で柔らかさが変わるか、チャーハンにできるかなど
- ・ふりかけでCKDの人におすすめのものがあったら知りたい。
- ・水分制限についても知りたい。
- ・患者の会会報に載せたいです
- ・楽しくいろいろな情報をいただきました。自分の料理に工夫していきたいと思う。
- ・いろんな方の話が聞けて良かった。
- ・料理のアレンジを教えてください。
- ・レシピ本を売ってもらってもいいので、1か月分のレポートリーが欲しい。

【スタッフ間・学生の振り返りから】

1) 料理教室の班メンバー

ペアで申し込んだら基本的には同じ班にし、運営はスムーズに行われた。その他、大きな問題なく開催できた。アンケートでも良い意見が多かった。

2) グラタンの調理に時間がかかった。オーブンの温度設定がレシピになく、試行錯誤した。

(学生より)

- ・参加者の方の知識が豊富で、作りながら日々の料理で工夫していることを教えていただき、大変勉強になりました。食塩の代わりに、酢や香辛料を用いる、量を増すのにくず粉を用いるなどが分かりました。
- ・調味料を計る作業は、患者さんにとって重要な工程だと感じた。
- ・実際に作ってみて、減塩していても果汁や唐辛子で味のアクセントをつけることができ、驚きました。量も満足な量でした。
- ・自分の中の制限食のイメージが変わりました。
- ・班の方と色々お話することができてよい機会となった。

料理教室の様子



講義風景



朝食献立 (参考)



昼食献立



調理実習



間食 (参考)



調理実習風景

15. 高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練

廣内智子, 島田郁子

1. 概要

日時 : 2019年12月15日(日) *10月実施予定であったが台風のため延期となり12月に実施

場所 : 高知県立大学 体育館、調理室、試食室、駐輪場

対象者 : 高知医療センター職員, 大学教職員・学生・地域住民などのエキストラ 500名程度

参加者 : 健康栄養学部教員 13名,

健康栄養学部学生 101名 1回生: 傷病者役 37名,

2回生: 炊き出し 16名, 外来患者 10名,

3回生: 避難者 34名,

4回生 JDA-DAT 役 4名),

高知県栄養士会 30名 (栄養局より吉松先生、田部井先生が参加されました)

ブルークロス調剤薬局の薬剤師 5名

高知医療センターとの連携

○高知医療センターから高知県立大学へ

ほうれん草スープ 200食,

カロリーメイト 120箱 (賞味期限切れのため提供できず)

○高知県立大学から高知医療センターへ

水(500mL×24本/箱): 8箱

2. 訓練の目的

訓練の目的は、災害時に高知医療センターが基幹災害拠点病院としての機能を果たせるように、来院した軽症者と避難者、帰宅困難者を高知県立大学池キャンパスが受け入れ、あわせて高知県立大学池キャンパスに避難所を開設し、受け入れと避難所の両機能を如何に早急に立ち上げ、災害時の課題を抽出・分析し、災害対応マニュアルや連携ルール等を見直し、実際の災害時に対応することです。健康栄養学部では、食料対応チームとして避難された被災者への炊き出し支援、及び巡回栄養相談による栄養支援を実施します。今年度の新たな取り組みとして、アルファ米にはお湯ではなく水を入れて提供し試食して頂くこと、さらに、巡回栄養相談では薬剤師との連携を図りました。

3. 訓練内容

フェイズ0～1(発災直後から72時間以内)の訓練

* 熱源, 調理器具, 食器等がない状況で大勢の避難者へ食料を提供する訓練

・飲料水の提供: 1人1本(500ml)提供

・アルファ米の提供: 1人1袋「水」を入れて提供

フェイズ2以降(発災から数日後)の訓練

* ある程度の食材が手に入る状況で避難者へ炊き出しを提供する訓練

・汁物の提供 : 移動式コンロカートを使用した炊き出し

* 発災から6日後を想定し、避難者の状態に応じた栄養支援を実施する訓練

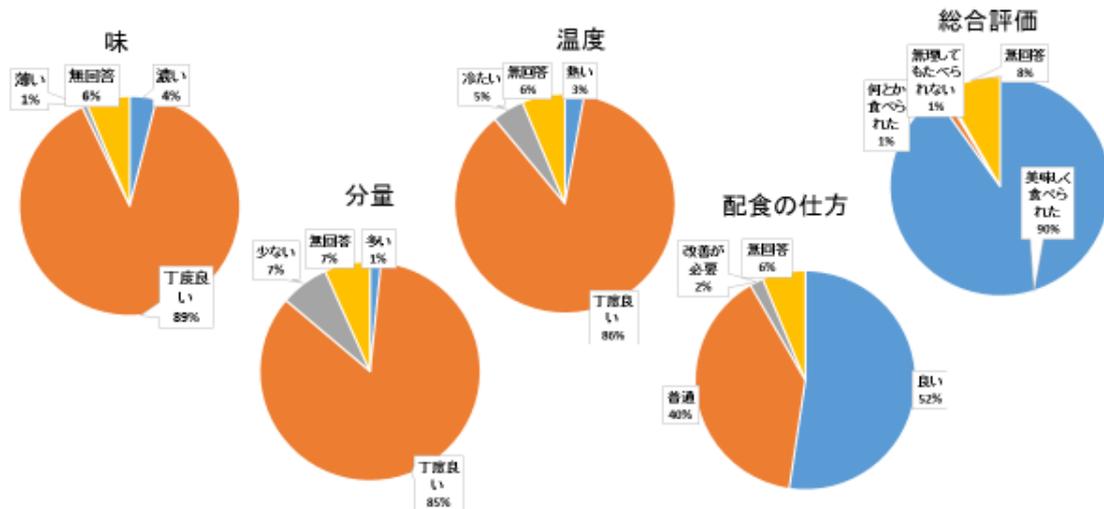
・巡回栄養相談 : JDA-DAT と薬剤師と連携

4. 訓練の様子



3. 炊き出しのアンケート結果

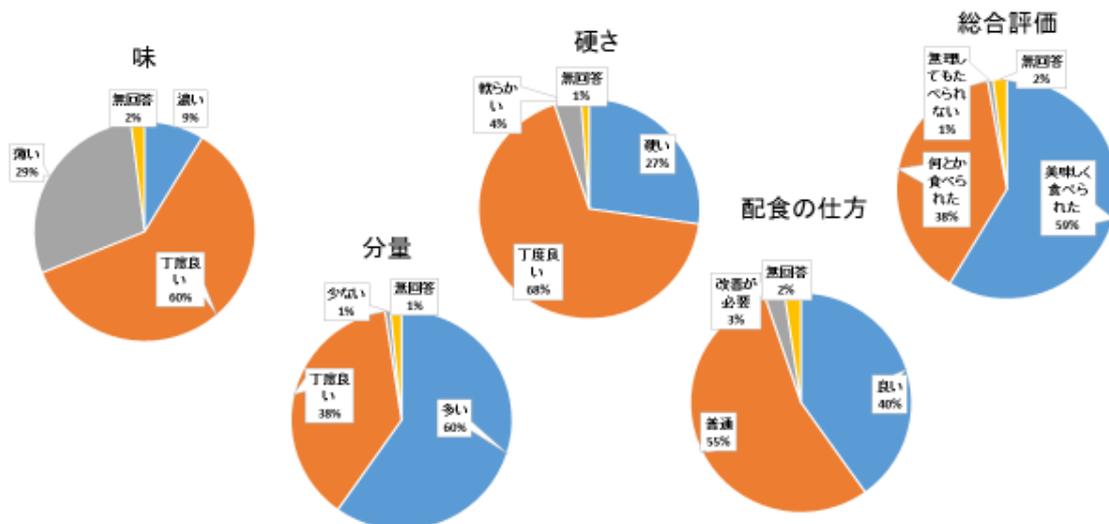
アンケート集計結果(汁物) アンケート回答数:254枚



意見や感想(汁物)

良い点:温かくて美味しかった、うずら卵が良かった、蓋があって嬉しかった、具材が多くて良かったなど。
 改善点:具材が大きいので噛めない人には食べるのが難しい、手渡しが良い(自身で取る実態の改善)、汁物を置いてあるテーブルに日が差していて直射日光が当たっており、夏場は衛生的にすぐに悪くなってしまいそう、配膳時間の掲示をするとよいなど。

アンケート集計結果(アルファ米) アンケート回答枚数:254枚



意見や感想(アルファ米)

良い点:美味しかった、汁物と一緒にだったので食べやすかった、災害時なら丁度良い量だったなど。
 改善点:高齢者にはパサパサしていて食べにくかった、上と下で味の濃さが違っていったなど。
 これらの意見より、次年度は支援が必要でない方は、各自で作ってもらうような体験を検討したいと考えます。

16. 委員会一覧

委員会名		担当者	委員会名		担当者
教育研究審議会		村上尚	研究倫理委員会		村上尚
部局長会議		村上尚	総合情報センター運営委員会		
地域教育研究センター (AERU)			図書館委員会		隅田有公子
地域教育研究センター運営会議	—		情報処理施設委員会		竹本和仁
共通教育部会		竹井悠一郎	研究活動不正防止委員会		村上尚
地域連携部会		渡邊浩幸	自己点検・評価運営委員会		村上尚
教務委員会		西岡道子	FD委員会		廣内智子
教職課程専門委員会		稲井玲子(栄養)	教員評価委員会		村上尚
健康長寿センター運営委員会		荒牧礼子, 島田郁子	学術研究戦略委員会		村上尚
とさつ子健診プロジェクト		荒牧礼子	紀要編集委員会		鈴木麻希子
地域ケア会議推進プロジェクト		隅田有公子	多職種連携実施委員		鈴木麻希子
退院支援事業		廣内智子	災害対策プロジェクト委員		廣内智子, 島田郁子
訪問看護育成講座		廣内智子			
学生委員会		島田郁子	履修証明プログラム(BP)実施委員		島田郁子
国際交流センター運営委員会		竹井悠一郎	学年担当 教員	1回生	廣内智子, 竹本和仁
健康管理センター運営委員会		稲井玲子		2回生	小林淳, 彼末富貴
キャリア支援部会		荒牧礼子		3回生	竹井悠一郎, 隅田有公子
広報委員会		村上尚(彼末富貴)		4回生	渡邊浩幸, 川村真美
人権委員会		稲井玲子			
学部	学部運営会議		村上尚, 稲井玲子, 小林淳, 渡邊浩幸		
	学部教務委員会		村上尚, 西岡道子, 稲井玲子, 鈴木麻希子, 竹井悠一郎		
	学部研究倫理審査専門委員		村上尚, 鈴木麻希子, 西岡道子		
	自己点検・評価委員会		村上尚, 渡邊浩幸		
	動物実験審査委員		渡邊浩幸, 村上尚		
	国家試験対策委員会		廣内智子, 竹本和仁		
	国際交流ワーキング		村上尚, 渡邊浩幸, 稲井玲子, 小林淳, 荒牧礼子, 島田郁子, 竹井悠一郎		
	就職支援		渡邊浩幸, 川村真美		
	学部報編集委員		荒牧礼子, 彼末富貴		
	医療センター包括連携委員		廣内智子		
	CKD料理教室		島田郁子, 沼田聡, 竹本和仁		
	広報		彼末富貴		
臨地実習委員会		荒牧礼子, 島田郁子, 竹井悠一郎, 廣内智子, 沼田聡, 隅田有公子			

17. 入学試験状況の概要(2020年度)

()内:男子

区分	募集 人員 A (名)	志願者数B(名)		受験者数C(名)		合格者数 D(名)		入学者数 (名)		志願 倍率 (%)	合格 倍率 (%)	
		全体	県内	全体	県内	全体	県内	全体	県内	B/A	C/D	
推薦	一般 県内	10	25 (0)	25 (0)	25 (0)	25 (0)	10 (0)	10 (0)	10 (0)	10 (0)	2.5	2.5
	一般 全国	5	21 (2)	2 (0)	21 (2)	2 (0)	5 (0)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	4.2	4.2
	合計	15	46 (2)	27 (0)	46 (2)	27 (0)	15 (0)	10 (0)	15 (0)	10 (0)	3.1	3.1
個別	前期	25	47 (8)	12 (2)	44 (8)	12 (2)	29 (6)	8 (1)	25 (5)	8 (1)	1.9	1.5
社会人	若干 名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
私費外国 人留学生	若干 名	2 (1)	/	2 (1)	/	0	/	0	/	/	—	
合計	40	95 (11)	39 (2)	92 (11)	39 (2)	44 (6)	18 (1)	40 (5)	18 (1)		2.4	2.1

18. 進学説明会・本学訪問・365日オープンキャンパス・出前授業状況

	進学説明会への 参加回数	本学訪問学校数	365日オープンキャンパス 来校生徒数	出前授業
県内	6回	5校	5人	3校
県外	3回	1校	9人	3校
合計	9回	6校	14人	6校

Ⅱ．学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数
2. 教育における学外施設の利用状況
3. 資格所得状況の概要
4. 国家試験の合格者状況（新卒者）
5. 就職状況の概要
6. インターンシップの実施状況
7. 学生の海外研修等
8. 卒業研究題目一覧
9. 学生の受賞
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

1. 学生の都道府県別出身高校数

(単位：名)

	1回生	2回生	3回生	4回生	合計
北海道					
青森県					
岩手県					
宮城県					
秋田県					
山形県					
福島県					
茨城県					
栃木県			1		1
群馬県					
埼玉県					
千葉県					
東京都	1				1
神奈川県					
新潟県					
富山県				1	1
石川県					
福井県				1	1
山梨県	1				1
長野県					
岐阜県	1				1
静岡県		2	1		3
愛知県	1		2	4	7
三重県	2	1	1		4
滋賀県					
京都府	1	1			2
大阪府	1		1	2	4
兵庫県	5	5	2	6	18
奈良県	1		1		2
和歌山県		3	1	1	5
鳥取県	1	1			2
島根県	1		2		3
岡山県	1	2		1	4
広島県			1	2	3
山口県				1	1
徳島県	2	2	4		8
香川県	2	5	3		10
愛媛県	4	3	1	3	11
高知県	13	14	11	15	53
福岡県					
佐賀県	1				1
長崎県				1	1
熊本県	1		1		2
大分県		1	2		3
宮崎県	1		1	1	3
鹿児島県	1	1	1		3
沖縄県		3	2	1	6
中華人民共和国	1	1	1	1	4
合計	43	45	40	41	169

2. 教育における学外施設の利用状況

実習名	実習先	実習期間	実習生 (名)
地域公衆栄養学 臨地実習	須崎福祉保健所	2019. 9. 9～9. 13	6
	高知市保健所	2019. 9. 9～9. 13	8
	中央東福祉保健所	2019. 9. 9～9. 13	7
	中央西福祉保健所	2019. 9. 9～9. 13	7
	幡多福祉保健所	2019. 9. 9～9. 13	6
	安芸福祉保健所	2019. 9. 9～9. 13	6
給食経営管理臨地 実習	高知医療センター	2019. 8. 21, 8. 26～8. 30	8
		2019. 8. 21, 9. 2～9. 6	8
	高知大学医学部附属病院	2019. 8. 26～8. 30	6
		2019. 9. 2～9. 6	6
	陸上自衛隊高知駐屯地	2019. 8. 26～8. 30	4
	とさの里 (介護施設)	2019. 8. 26～8. 30	4
		2019. 9. 2～9. 6	4
あったかケアみずき	2019. 8. 26～8. 30	2	
臨床栄養学 臨地実習 I・II	高知医療センター	2002. 2. 14, 2. 17～2. 28	20
	高知大学医学部附属病院	中止、次年度別施設で対応	7
	近森病院	2020. 2. 13～2. 21, 遠隔	3
		次年度に延期	3
	国立病院機構 高知病院	次年度に延期	2
	JA 高知病院	次年度に延期	3
高知県立あき総合病院	次年度に延期	2	
地域実践栄養学 臨地実習	高知大学医学部附属病院	2019. 6. 17～6. 21	5
	近森病院	2019. 6. 10～6. 14	2
		2019. 6. 17～6. 21	2
	南国市保健福祉センター	2019. 6. 19～6. 27	5
教育実習 (栄養教諭)	広島県三次市立八次小学校	2019. 5. 7～5. 20	1
	兵庫県宍粟市立山崎小学校	2019. 5. 13～5. 24	1
	愛媛県松山市立さくら小学校	2019. 5. 13～5. 24	1
	和歌山県田辺市立鮎川小学校	2019. 5. 13～5. 24	1
	高知市立高須小学校	2019. 5. 13～5. 24	2
	高知県香南市立赤岡小学校	2019. 5. 13～5. 24	1
	南国市立十市小学校	2019. 5. 13～5. 24	1
	南国市立後免野田小学校	2019. 5. 13～6. 27	1
	高知県須崎市立須崎小学校	2019. 5. 20～5. 31	1

3. 資格取得状況の概要

(単位：名)

管理栄養士国家試験受験資格	栄養士免許証	教員免許
		栄養教諭一種
41	41	10

4. 国家試験の合格者状況（新卒者）

受験年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
国家試験回数	第34回	第33回	第32回	第31回
受験者数（名）	40	42	41	41
合格者数（名）	39	41	41	38
合格率	97.5%	97.6%	100%	92.7%

5. 就職状況の概要

		人数
管理栄養士 ・ 栄養士	医療	10
	学校教育・栄養職員	7
	ドラッグストア・調剤薬局	8
	公務員	2
	委託給食	1
	その他	2
一般企業等		7
公務員（一般行政）		1
進学		3
卒業生数		41

6. インターンシップの実施状況（延べ人数）

(単位：名)

	1回生	2回生	3回生	4回生
企業・県庁等	0	44	0	0
近森病院	33	31	0	0

7. 学生の海外研修等

協定校	国名	交流日	交換人数
サバ大学	マレーシア	中止	中止

8. 卒業研究題目一覧

() : 氏名, 研究室名

1. 画像認識機能が付いている栄養計算アプリケーションの正確性についての比較検討～アプリの選択～ (別府真悠子 公衆栄養学)
2. 画像認識機能が付いている栄養計算アプリケーションの正確性についての比較検討～アプリの分析～ (古谷紀梨子 公衆栄養学)
3. 児童の成長に伴う食習慣の変化について (浅田侑、戸田千尋 公衆栄養学)
4. 子どもにおける生活習慣や食への理解および自己管理能力との関連性
(木村藍奈、綿谷千夏 栄養教育論)
5. 高知県 0 地域における介護保険制度に向けた栄養サポートのための一考案
(井上晴賀、小笠原唯、杉本菜々世 栄養教育論)
6. トンネル内の環境放射線量の変動に関する研究 (畠中麻弥 健康生態学)
7. 大学構内における放射線量の変動に関する研究 (黒石香菜子 健康生態学)
8. 大学構内で着用したサンダルの微生物汚染状況調査 (田中愛佳 健康生態学)
9. 大学校舎内の床面における微生物汚染状況調査 (財部麻結子 健康生態学)
10. 本学の調理学実習室における空気環境の把握 (松岡さやか 健康生態学)
11. 工場製造味噌と天然醸造味噌の一般細菌数の違い (上野美紀 病態学)
12. 飲用したペットボトル飲料での一般細菌数について (森田和美 病態学)
13. 木綿豆腐と絹豆腐の一般細菌数増加の違いについて (森本莉奈 病態学)
14. スポーツ選手における栄養摂取状況と体格について (渡邊千尋 病態学)
15. ニラの未来～ニラ日本一の香南市の認知度 UP に向けて 3～
(大谷麻衣子、和田真穂 給食経営管理)
16. トマト de ガトーインビジブル～フランスケーキへの挑戦～
(白石彩夏、瀬戸口彩音 給食経営管理)
17. 避難所における効果的な巡回栄養相談に関する研究 (柿本鈴夏、濱島佑佳 臨床栄養学)
18. 石灰化阻害因子ピロリン酸における動脈瘤への影響
(稲垣梨香子、堀川みなみ 臨床栄養学)
19. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 発症過程における新所見 (濱崎華子、安井綾乃 臨床栄養学)
20. 翻訳開始因子 eIF3 p110 と Src-associated in mitosis 68 kDa protein (Sam68) との結合性
(山根悠太 栄養学)
21. プロセスチーズの無機リン量の比較 (弘光美桜 栄養学)
22. 茹で加熱の違いによるサバのビタミン B₁₂ 含量の変化 (杉田晴輝 調理学)
23. 炒め加熱におけるサヤインゲンの葉酸含量 (久保田真以 調理学)
24. 食材からの脱カリウム・脱リンの調製検討 (片山美佑 食品科学)
25. ニラ中のカロテン定量法の最適化と生鮮ニラの栄養機能食品化を目指した成分管理
(古木麻優 食品科学)
26. ニラの栄養機能食品化に必要な表示事項となる各種調理後のニラ含有 β -カロテン量の変動測定 (高峰 食品科学)
27. 冷凍酢飯の物性変化と冷凍すしの製造法検討 (月川みなみ 食品科学)
28. 肝癌細胞へのアミノ酸添加が DNA やタンパク質のメチル化代謝で生成する含硫黄アミノ酸量に及ぼす影響 (山田晋行 食品科学)
29. イタドリ葉部抽出物が高脂肪食マウスの脂質代謝に与える影響 (持田聡美 食品科学)
30. イタドリ葉部抽出物のマウスの消化管免疫に及ぼす影響 (福留叶子 食品科学)
31. イタドリ葉部抽出物の食品アレルギーに及ぼす影響 (中村葉緒里 食品科学)

9. 学生の受賞

表彰名	学年	氏名	功績・賞の概要
学長賞 2019. 1. 23	4 回生	健康弁当開発チーム 石川響一, 柿本鈴夏, 高峰, 杉田晴輝, 福 留叶子	Lawson 高知と連携し、高知家健康パスポートの基準を満たす 519 キロカロリー、食塩相当量 2.0 グラムの健康弁当の開発に成功し、実際に店頭で販売された。
	4 回生	高知県学生献血クロス倶楽部 石川響一, 杉田晴輝, 瀬戸口彩音, 持田聡 美, 山田晋行	高知県赤十字血液センターと連携して、高知県学生献血クロス倶楽部および中国四国学生献血推進協議会代表委員会として献血の普及、啓発活動に貢献した。
	4 回生	小児糖尿病サマーキャンプスタッフ 財部麻結子, 田中愛 佳, 弘光美桜	公益社団法人日本糖尿病協会が主催する小児糖尿病サマーキャンプに参画し、企画・運営のサポートを積極的に行った。また、キャンプの事前学習として自主的に勉強会を行い、医療スタッフ主催のミーティングに参加し、血糖測定器の使い方やインスリンの打ち方等についても積極的に学んだ。
	4 回生	COME☆RISH 古木麻優, 福留叶子, 森本莉奈, 小笠原唯, 片山美佑, 白石彩夏, 田中愛佳, 持田聡美, 山田晋行, 畠中麻弥, 大谷 麻衣子, 和田 真穂, 柿本鈴夏, 高 峰, 杉田晴輝, 濱島 佑佳, 安井綾乃, 綿 谷千夏	4 期生として、先輩や地域の方々の思いを継続しながら大野見での農作業体験や地域イベントへの参加等を行い、また、知事訪問や中土佐町へ受賞の報告に参加し、おのみエコロジーファーマーズをはじめ、関係者との交流や学生の企画について報告することにより、さらなる PR につなげた。後輩が定食屋に挑戦した際には、作業や衛生面での指導を行い、南国市十市小学校 6 年生らが取り組んでいる「学校給食献立作成」にも活動の経験からアドバイスをし、好評を得た。
(社) 全国栄養士養成施設協会 会長 2020. 3. 19	4 回生	濱崎華子	栄養士課程および管理栄養士養成課程を優秀な成績で卒業する学生を対象に、社団法人全国栄養士養成施設協会が表彰した。

10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

実施日	活動・イベント名	担当教員	活動・イベントの概要
2019. 6. ～ 2020. 3	学生プロジェクト立志社中 「それいけ！大野見エコ米 ～No Rice No Life～」	島田郁子, 隅 田有公子, 沼 田聡	地域との交流や地元企業との共同 弁当開発等を通じて中土佐町大野 見地区の地域活性化を目指す。
2019. 5～ 2020. 3	サンプラザと弁当の共同開 発 「私たちの勉強道」	渡邊浩幸, 彼 末富貴	サンプラザと共同で、高知県の食を 取り巻く環境の改善に向けた弁当 や総菜の協働活動を実践してゆく。

Ⅲ. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 村上 尚
2. 稲井 玲子
3. 小林 淳
4. 渡邊 浩幸
5. 荒牧 礼子
6. 鈴木 麻希子
7. 西岡 道子
8. 島田 郁子
9. 竹井 悠一郎
10. 廣内 智子
11. 隅田 有公子
12. 竹本 和仁
13. 沼田 聡
14. 彼末 富貴
15. 川村 真美

学部長 教授 村上 尚 (MURAKAMI Takashi)

I. 教育活動

【学部】

- ・人体の構造と機能 II
- ・疾病論 I
- ・疾病論 II
- ・臨床医科学
- ・生体科学実験・実習
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

【学会発表】

1. 廣内智子, 島田郁子, 村上尚, 津野美保, 森田陽子. 被災地での巡回栄養相談における避難者とのコミュニケーションのあり方. 日本災害食学会第7回研究発表会, 東京(2019.8.24-25)
2. 隅田有公子, 竹井悠一郎, 村上尚, 稲井玲子. 高齢化率44.6%地域における高齢者の健康長寿に対する取り組み, 第66回日本栄養改善学会学術総会, 富山(2019.9.6)

III. 委員会活動

1. 健康栄養学部長
2. 高知県立大学教育研究審議会委員
3. 高知県立大学部局長会議構成員
4. 高知県立大学動物実験委員会委員長
5. 高知県立大学研究倫理委員会委員
6. 高知県立大学入学試験委員会委員
7. 高知県立大学自己点検・評価運営委員会委員
8. 高知県立大学学術研究戦略委員会委員
9. 大学教育改革プロジェクト委員会委員
10. 高知県立大学広報委員会委員
11. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会委員
12. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会副部会長
13. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康長寿・地域医療連携部会構成員
14. 高知県立大学健康栄養学研究倫理審査委員会委員長
15. 運営委員 (学部)
16. 教務委員会委員 (学部)
17. 国際交流ワーキング委員 (学部)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本肥満学会本部評議員
2. 日本糖尿病学会会員
3. 日本生化学会会員
4. 日本分子生物学会会員
5. 高知県衛生研究所研究協議会委員

I. 教育活動

【学部】

- ・栄養教育論 I
- ・栄養教育論 II
- ・栄養教育論 III
- ・栄養教育論実習 I
- ・栄養教育論実習 II
- ・学校栄養指導論 I
- ・学校栄養指導論 II
- ・教育実践演習 (栄養)
- ・学校栄養教諭教育実習
- ・卒業論文
- ・栄養教諭教育実習

II. 研究活動

【論文】

S. Higaki, R. Inai, H. Hayashi (2019) 衛生管理における制度化対応の一考案—小規模給食施設—, 食育学研究 13-2, 96-100

【学会発表】

1. 稲井玲子, 檜垣俊介, 松尾達博. ラットにおけるズイナ乾燥粉末の生理作用 (1), 第 73 回日本栄養・食糧学会大会 (静岡) (2019. 5.)
2. 檜垣俊介, 稲井玲子, 松尾達博. ラットにおけるズイナ乾燥粉末の生理作用 (2), 第 73 回日本栄養・食糧学会大会 (静岡) (2019. 5.)
3. 檜垣俊介, 稲井玲子, 西岡道子. 小規模給食施設における衛生管理における制度化対応への一考案, 第 66 回日本栄養改善学会学術総会, 富山 (2019. 9. 6)
4. 隅田有公子, 竹井悠一郎, 村上尚, 稲井玲子. 高齢化率 44. 6%地域における高齢者の健康長寿に対する取り組み, 第 66 回日本栄養改善学会学術総会, 富山 (2019. 9. 6)
5. 井上晴賀, 小笠原唯, 木村藍奈, 杉本菜々世, 綿谷千夏, 稲井玲子. 高知県 0 地域における介護保険制度に向けた栄養サポートための一考案 (I), 第 52 回 日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会 (高知) (2019. 10.)
6. 木村藍奈, 小笠原唯, 井上晴賀, 杉本菜々世, 綿谷千夏, 稲井玲子. 高知県 0 地域における介護保険制度に向けた栄養サポートための一考案 (II), 第 52 回 日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会 (高知) (2019. 10.)

III. 委員会活動

1. 日本食育学術会議・理事長
2. 日本栄養食糧学会・中四国・参与
3. 日本機能性食品医用学会・評議員
4. 日本栄養改善学会・評議員
5. 平成 30 年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試験審査問題・委員

6. 高知県食育推進協議会・委員
7. 高知県アルコール健康障害対策連絡協議会・委員

IV. 社会的活動

1. 高知県アルコール健康障害対策連絡協議会 高知県アルコール健康障害対策連絡協議会 県民文化ホール 11月13日
2. 食育連携推進協議会 食育連携推進協議会 6月26日、2月13日
3. 作陽保育園父兄会 講師 作陽保育園 6月8日
4. 日本食育学会 第15回大会 総括 広島修道大学 6月22日、23日
5. 令和2年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試験審査問題の調査研究の結果報告・様式1 研究員 高知県教育委員会 6月25日
6. 令和2年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試験審査問題の調査研究の結果報告・様式2 研究員 高知県教育委員会 7月2日
7. 保育士等キャリアアップ研修（高知県）講師 高知市文化プラザ 8月22日
8. 日本食育学会 生活リズムと食のセミナー 講師 早稲田大学 11月3日
9. 本山町・高知県立大学・高知短期大学公開講座 「夜学2019 体内時計と食事」講師 本山町プラチナセンター 2020年2月7日
10. 土佐まるごと社中（TMS）第30回定例会（プレゼン大会）in 室戸 基調講演「食生活がもたらす地域の活力」室戸市保健福祉センターやすらぎ 2020年2月22日

I. 教育活動

【学部】

- ・ 生化学Ⅰ
- ・ 生化学Ⅱ
- ・ 公衆衛生学
- ・ 地域健康論
- ・ 地域医療論
- ・ 生化学実験
- ・ 環境衛生学実習
- ・ 生化学（看護学部）
- ・ 管理栄養士総合演習Ⅱ（オムニバス）

【大学院・人間生活学研究科（修士課程）】

- ・ 栄養・生活統計論

【非常勤】

- ・ 電気通信大学 共通教養教育 基礎科学実験B（化学実験）

II. 研究活動

【著書】

1. 内田明彦, 加藤雅彦, 小林 淳 他 (2019) 認定動物看護師教育コアカリキュラム2019 準拠 応用動物看護学2 公衆衛生学/動物医療関連法規 (一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会 編), p155-197, インターズー, 東京.

【論文】

1. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda, Hideo Sugiyama. (2019) Simultaneous determination of Cr(III) and Cr(VI) using spectrophotometric HPLC and EDTA chelation, *Int J Pharmacy Pharm Res***15**, 38-49.
2. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Foods that harm children's health, *Int J Pharmacy Pharm Res***15**, 65-71.
3. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Study on drug classification and relevant professional qualifications in Japan, *Int J Pharmacy Pharm Res***15**, 128-35.
4. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) What Does "100 exquisite and well-conserved waters" mean?, *Int J Pharmacy Pharm Res***15**, 197-209.
5. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Common beliefs regarding dieting methods in Japan and evidence-based recommendations, *Int J Pharmacy Pharm Res***15**, 324-35.
6. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) The role of meals for the Japanese people in modern times, *Int J Pharmacy Pharm Res***16**, 90-7.
7. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Specificity of the registered dietitian profession, *Int J Pharmacy Pharm Res***16**, 103-11.
8. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Positive and negative effects of energy drinks, *Int J Pharmacy Pharm Res***16**, 288-95.
9. Jun Kobayashi, Yoshino Chikamori, Keiichi Ikeda, Hideo Sugiyama (2019) Survey of microbial contamination in shared indoor footwear at university, *Int J Pharmacy Pharm Res***16**, 303-15.
10. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Processing and consumption of wild animal meat or "gibier" in Japan: Safety concerns and recommendations, *Int J Pharmacy Pharm Res***17**, 145-55.

11. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Cause of increase in notifications of Anisakiasis in Japan, *Int J Sci Res Methodol***12**, 103-10.
12. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Current response to the problem of ocean plastic dumping in Japan, *Int J Sci Res Methodol***13**, 6-13.
13. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Study on delay of earthquake countermeasures due to differences between public opinion and individual thinking, *Int J Sci Res Methodol***13**, 104-13.
14. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda, Hideo Sugiyama (2019) Determination of the enzymatic activity of S-adenosylhomocysteine hydrolase in parasites using HPLC, *Int J Sci Res Methodol***14**, 29-38.
15. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Preventing heat illness in pet dogs and cats, *Int J Sci Res Methodol***14**, 58-65.
16. Jun Kobayashi, Miho Ishida, Keiichi Ikeda (2019) A study on disappearance of nitrite in cat food, *Int J Sci Res Methodol***14**, 118-27.
17. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Causes of different walking distances between cities, *Int J Res Methodol***2**, 20-5.
18. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) A study on priority seats in Japanese public transportation, *Int J Res Methodol***2**, 26-34.
19. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) A study on stealth marketing in Japan, *Int J Res Methodol***2**, 35-43.
20. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) The transition of social discrimination behavior for Hansen's disease patients in Japan, *Int J Res Methodol***2**, 44-52.
21. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda (2019) Changes in the significance of public libraries in Japan, *Int J Res Methodol***2**, 152-62.
22. 小林淳, 武市友, 杉山英男 (2020) 高知県内の河川水成分の違い, *四国公衆衛生学会誌***65**, 93-6.
23. 西川友加里, 小林淳, 杉山英男 (2020) トンネル内放射線量の変動, *分析化学***69**, 41-4.
24. 小林淳, 山手沙也香, 杉山英男 (2020) 学内実習室で調理する際の空気環境評価, *高知県立大学紀要健康栄養学部編***69**, 1-8.

【学会発表】

1. 小林淳, 近森貴乃, 池田啓一, 杉山英男. 共用上履きの微生物汚染状況調査, 日本分析化学会第 68 年会, 千葉, 2019 年 9 月.
2. 小林淳, 近森貴乃, 田中守, 池田啓一, 杉山英男. 大学で使用する共用上履きの微生物汚染状況調査, 日本薬学会第 140 年会, 京都, 2020 年 3 月.
3. 池田啓一, 新城智也, 川崎広明, 東 康彦, 小林淳, 刀裨重信, 松本孝, 山倉文幸. ペルオキシナイトライトとの反応によるトリプトファン代謝物の蛍光スペクトルの変化, 日本薬学会第 140 年会, 京都, 2020 年 3 月.

Ⅲ. 委員会活動

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 学部入試実施委員会委員 | 2. 大学入試センター試験実施委員会委員 |
| 3. 健康栄養学部入学資格審査部会委員 | 4. 健康栄養学部運営会議委員 |
| 5. 健康栄養学部研究倫理審査委員会委員 | 6. 健康栄養学部 国際交流 WG 委員 |

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 平成 31 年度食品安全委員会食品安全モニター
2. 平成 31 年度高知市市民ウェブモニター

【その他】

1. 2019 ナーチャ賞エッセイコンテスト優秀賞受賞「合同合宿セミナーを主催して思うこと」
2020 年 1 月

I. 教育活動

【学部】

- ・食品学
- ・食品学実験Ⅱ
- ・食品衛生学実験
- ・食材学
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ
- ・地域学概論 (オムニバス)
- ・食品学実験Ⅰ
- ・食品衛生学
- ・食品の栄養素と機能
- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・卒業研究

【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・食品生化学特論 (食品科学論Ⅰ)
- ・食物科学論
- ・食品製造学特論 (食品科学論Ⅱ)
- ・食物科学実践演習

【大学院・健康生活科学研究科 (博士後期課程)】

- ・食品機能学

【非常勤】

- ・RKC 調理製菓専門学校
- ・北見工業大学
- ・高知県立農業大学校

II. 研究活動

【学会発表】

1. 井治賢希、竹本和仁、川村真美、吉屋志朗、大石和成、谷本佳史、渡邊浩幸、イタドリ葉部に含まれるポリフェノール類の定量と食品機能について 第 73 回日本栄養・食糧学会大会、静岡 (2019.05.17~19) .
2. 竹本和仁、井治賢希、川村真美、吉屋志朗、大石和成、谷本佳史、渡邊浩幸、イタドリ葉部抽出物が高脂肪食マウスに与える影響 第 73 回日本栄養・食糧学会大会、静岡 (2019.05.17~19) .
3. 渡邊浩幸、井治賢希、川村真美、山田晋行、竹本和仁、高脂肪食マウスに対するアシル化ステロール配糖体投与による体脂肪蓄積抑制効果とそのメカニズム 第 40 回日本肥満学会・第 37 回日本肥満症治療学会学術集会、東京 (2019.11.02~03) .
4. 竹本和仁、井治賢希、川村真美、山田晋行、渡邊浩幸、ネオクロロゲン酸高含有イタドリ葉部抽出物が高脂肪食マウスに与える影響 第 40 回日本肥満学会・第 37 回日本肥満症治療学会学術集会 第 52 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会、東京 (2019.11.02~03) .
5. 竹井悠一郎、山之内大、渡邊浩幸、石灰化抑制因子ピロリン酸による動脈瘤形成の抑制効果 第 52 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会、高知 2019.10.26~27) .
6. 山田晋行、井治賢希、竹本和仁、川村真美、谷本佳史、渡邊浩幸、肝癌細胞へのアミノ酸添加がメチル化代謝物量の変化に与える影響 第 52 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会、高知 2019.10.26~27) .
7. 竹本和仁、井治賢希、川村真美、吉屋志朗、大石和成、田中守、渡邊浩幸、イタドリ葉部の 80% エタノール抽出物の抗アレルギー作用 第 52 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会、高知 2019.10.26~27) .

Ⅲ. 委員会活動

1. 地域連携部会（副部会長）
2. 地域課題研究部会（委員）
3. 人間生活学研究科博士前期課程学位審査委員（委員長）
4. 産官学研究プロジェクト長
5. 立志社中運営委員会（委員）
6. 学部運営委員（学部）
7. 就職担当（学部）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養食糧学会参与
2. 社団法人日本脂質栄養学会評議員
3. 日本肥満学会会員
4. 日本未病システム学会会員
5. 日本食品保蔵科学会会員
6. 土佐フードビジネスクリエーター(FBC)人材創出 講義担当
7. 高知県事業診査アドバイザー（委員長）
8. こうち産業振興基金等事業審査委員
9. 越知町まち・ひと・しごと創生推進会議（委員）
10. 高知県食の安全・安心推進審議会委員
11. 高知県産学連携会議会員
12. 生産管理高度化情報共有会議会員
13. IoP プロジェクト研究推進部会 高付加価値化大課題リーダー
14. 高知県産学官民連携センター コブラコーディネーター

【講演・講習会】

1. HACCP 管理者 HACCP 講座（学内講習会）
2. 土佐FBC人材創出事業（食品機能学）

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 受託研究（高知県立大学）：牧野富太郎博士ゆかりの有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル（牧野植物園）
2. 内閣府：“I o P（Internet of Plants）”が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化（地方大学・地域産業創生交付金）
3. 協同研究：コーン由来のASG含有抽出物の内臓脂肪増加と血中LDL上昇の抑制効果の検証（株式会社ファンケル）
4. 共同研究：生姜摂取後の血流に関する研究（株式会社協和）

I. 教育活動

【学部】

- ・公衆栄養学Ⅰ
- ・公衆栄養学Ⅱ
- ・地域公衆栄養学実習
- ・健康情報論実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習（共担）
- ・介護論（オムニバス）
- ・食と介護実習（オムニバス）
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ（オムニバス）
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ（オムニバス）
- ・生活技術援助Ⅳ（社会福祉学部）（オムニバス）
- ・卒業研究

【大学院・人間生活学研究科（博士前期課程）】

- ・栄養疫学論

II. 研究活動

【著書】

1. 荒牧礼子, 今井絵理, 栗山孝雄, 黒川通典, 中出麻希子, 東あかね (2020) 公衆栄養学, 第1版 (荒牧礼子, 今井絵理 編), p15-32, p113-121. 化学同人, 京都.

【学会発表】

1. Reiko Aramaki: Analysis of Dietary Intake Status in Young Japanese Adults by Lipid Energy Ratio Stratification. Asian Congress of Nutrition(ACN), 2019. 08. 07. Bali.
2. Reiko Aramaki: Evaluation of the health maintenance effect of plant-derived Tahibo NCD. 第24回中日食育フォーラム, 江南大学 無錫市, (2019. 09. 06)
3. 荒牧礼子, 杉野友美: 若年女性が考える「バランスの良い食事」について, 第7回日本食育学会学術大会, 福岡, (2019. 06. 08)
4. 荒牧礼子: 検査結果に基づく児童の食生活の現状, 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知, (2019. 10. 25)
5. 荒牧礼子, 野々村瑞穂: 男性勤労者層における10年後の体重増加に及ぼす生活習慣、食習慣要因の検討-10年間の追跡調査結果から-, 第26回日本未病システム学会学術総会, 名古屋, (2019. 11. 16)

【報告書】

1. 荒牧礼子 (2019) 高知県内の医療・健康・福祉専門職者のスキルアップに資する活動. p212-213. 高知県立大学健康長寿センター, 高知
2. 高知県行政栄養士人材育成検討会委員荒牧礼子他, 高知県行政栄養士人材育成 ガイドライン, p1-25. 2019, 高知県健康長寿政策課, 高知県

III. 委員会活動

1. 健康長寿センター運営委員（副センター長）
2. 健康管理センター運営委員
3. キャリア支援運営委員
4. 入試監査委員

5. 臨地実習委員長（学部）
6. 国際交流ワーキング委員
7. 学部報編集委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本未病システム学会評議員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本公衆衛生学会会員
4. 第78回日本公衆衛生学会総会学術部委員
5. 日本栄養改善学会会員
6. 日本職業・災害医学会会員
7. 日本食育学会会員
8. 公益社団法人日本栄養士会会員
9. 公益社団法人高知県栄養士会会員
10. 土佐市とさっ子健診プロジェクトメンバー
11. 第3次南国市食育推進会議委員
12. 高知県行政栄養士人材育成検討会委員（副委員長）

【講演・講習会】

1. 高知県行政栄養士新任研修 講師 令和元年7月12日、高知県立大学
2. 日本における食育活動 講師 2019年9月5日 江蘇省江南大学
3. いきいきセカンドライフ講座「いつまでも元気！生活習慣病予防」講師 令和元年11月27日 高知市文化プラザかるぼーと 高知市立中央公民館
4. 高知県行政栄養士新任研修 講師 令和元年12月6日、高知県立大学
5. 東葛城高齢者大学講座「アンチエイジング」講師 令和元年12月13日 葛城上地区公民館

【その他】

1. 健康長寿体験型セミナー「災害時に生きてくる日常生活の工夫～食事と運動～」令和元年6月25日 大川村小・中学校体育館
2. 健康長寿体験セミナー「認知症になっても安心して暮らし続けられる町づくり」令和元年11月8日 田野町老人福祉センター
3. とさっ子健診 USA くろしおセンター 令和元年7月31日
4. とさっ子健診 土佐市保健センター 令和元年8月18日
5. とさっ子健診 土佐市保健センター 令和元年8月26日

I. 教育活動

【学部】

- ・基礎栄養学
- ・基礎栄養学実験
- ・応用栄養学 I
- ・応用栄養学実習
- ・応用栄養学 II
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・ライフステージ栄養学
- ・卒業研究

【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・栄養・生活特論 I (オムニバス)
- ・栄養学特論
- ・栄養・生活特論 II (オムニバス)

【非常勤】

- ・高知大学 医学部
- ・放送大学 高知学習センター

II. 研究活動

【論文】

1. 鈴木麻希子, 山下成実. 加工食品における添加無機リンおよび総リンの定量. 日本栄養・食糧学会誌, 2019;72(3):115-120.

【学会発表】

1. 弘光美桜, 鈴木麻希子. プロセスチーズの無機リン量の比較. 第 52 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, 高知市 (2019. 10. 27)

III. 委員会活動

1. 紀要委員
2. 研究倫理審査委員
3. 学部入試監査委員
4. 教員免許状更新講習実施部会委員
5. 大学院 教務委員
6. 人間生活学研究科 学務委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本生化学会会員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 社団法人 日本栄養士会会員
5. 社団法人 高知県栄養士会会員
6. 日本分子生物学会会員
7. 日本栄養・食糧学会誌査読
8. 高知県小・中・高・大家庭科教育連合会 補助金報告書編集

【講演・講習会】

1. 令和元年度高知県立大学オープンキャンパス 健康栄養学部体験授業 栄養学 2019年7月28日
2. 第4回栄養・食事と腎のセミナー 講師「リンの話 ～有機リン・無機リン～」, 高知県臨床栄養研究会, 2019年12月1日

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学
- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究

II. 研究活動

【学会発表】

檜垣俊介, 稲井玲子, 西岡道子. 小規模給食施設における衛生管理における制度化対応への一考案, 第 66 回日本栄養改善学会学術総会, 富山 (2019. 9. 6)

III. 委員会活動

1. 教務委員
2. 学部教務委員会
3. 研究倫理審査専門委員会委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会会員
2. 日本ビタミン学会会員
3. 日本栄養改善学会会員

I. 教育活動

【学部】

- ・給食経営管理論
- ・給食計画論
- ・給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ
- ・給食経営管理臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ
- ・卒業研究

【非常勤】

- ・衛生法規 RKC 調理製菓専門学校 製菓衛生師科 (平成 28 年度～)
- ・食生活論 高知大学教育学部

【その他】

- ・多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座
2019 年 10 月 19 日 2020 年 2 月 9 日

II. 研究活動

【論文】

1. 島田郁子, (2019), 大川村独自の給食体制 子どもからおとなまでおいしく！
地域活性研究, Vol. 11, p157-162 (<https://www.chiiki-kassei.com/>)

【学会発表】

(1) 国際学会発表

1. Naomi Sakuma, Ikuko Shimada, and Takashi Uemura. School Luncheon in Japan, its Food-safety System and Food-culture Education. The 33rd Conference of Bangladesh Society of Microbiologists, Dhaka, Bangladesh (2019. 12. 26)
2. Chie Tokuhiro, Ikuko Shimada, Satoshi Numata, and Kazuko Kitamura. Case Study on Attitude and Behavior of School Lunch Officials Regarding Utilization of Local Produce
-Focusing on the Difference of Occupation-. ICTEL 2020 - International Conference on Teaching, Education & Learning, Dubai, UAE (2020. 2. 16)
3. Ikuko. Shimada, Chie Tokuhiro, Satoshi Numata, Tomoko Hirouchi, Keiko Watanabe, and Takeaki Okamoto. Survival cooking as disaster education for students and local residents. ICTEL 2020 - International Conference on Teaching, Education & Learning, Dubai, UAE (2020. 2. 16)

(2) 国内学会発表

1. 島田郁子, 庵原史佳, 土井麻緒, 濱田紗和, 杉本美佳子, 野本友華, 森恵美, 沼田聡. 四万十トマトを活かした新メニュー開発への挑戦. 第 6 回日本栄養改善学会四国支部学術総会. 徳島大学 (2019. 4. 27)
2. 廣内智子, 島田郁子, 村上尚, 津野美保, 森田陽子. 被災地での巡回栄養相談における避難者とのコミュニケーションのあり方. 第 7 回日本災害食研究発表会. 東京 (2019. 8. 24)
3. 島田郁子, 沼田聡. 災害時対応につながるサバイバルメシ 学生の災害時教育. 第 15 回給食経営管理学会学術総会. 愛知 (2019. 11. 24)
4. 沼田聡, 島田郁子. 卵白アレルギーであるオボアルブミンに対する高感度酵素免疫測定法の開発 (第 2 報). 第 15 回給食経営管理学会学術総会. 愛知 (2019. 11. 24)

【報告書】

1. 島田郁子 (2019) 健康長寿体験型セミナー in 大川村, 災害時に生きてくる日常生活の工夫～食事と運動～. 高知県立大学健康長寿センター, p13-18.
2. 島田郁子 (2019) 慢性疾患を有する患者対象の料理教室. 高知県立大学健康長寿センター, p178-183.
3. 島田郁子 (2020) 第9回 JDA-DAT リーダー育成・スキルアップ研修 in 高知県. 栄養士佐はちきん第40号. 高知県栄養士会, 第40号, p12-13

Ⅲ. 委員会活動

1. 健康長寿センター運営委員
2. 学生支援委員会
3. BP (専門実践教育訓練講座 職業実践力養成プログラム) 委員
4. 災害プロジェクト委員
5. 国際交流 WG メンバー
6. 臨地実習委員会

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 高知県栄養士会理事
2. 日本栄養士会災害支援リーダー研修運営委員
3. 土佐市社会福祉事業団理事
4. 土佐市立学校給食センター運営審議会委員
5. 高知市学校給食調理業務に係るプロポーザル選定委員会委員長
6. 安芸市学校給食運営委員
7. 南国市学校給食センター運営委員

【その他】

1. NPO 法人日本スポーツ栄養学会 国際交流委員会委員 (翻訳チーム)
2. 日本家政学会 中国・四国支部 機関幹事
3. 高知県立大学同窓会 しらさぎ会理事
4. 地域活性学会査読者

【講演・講習会】

1. 国保連合会 ヘルスアップ推進員研修会 2019年6月19日
2. 第10回食育活動発表大会 (株式会社 サニーマート) 審査員 2019年6月20日
3. 健康長寿体験セミナー・健康維持訓練 於大川村 2019年6月25日
4. れんけいこうち人づくり塾 高知市防災士養成講座 講師 2019年7月18日
5. 女子中高生のための工業都市 東予・夏の学校2019 講師 2019年8月19日
6. 高知県産業振興推進部 地産地消・外商課栄養成分表示研修 2019年8月20日、2020年2月9日
7. 大阪府教育センター 令和元年度栄養教諭・学校栄養職員研修B講師 2019年8月5日
8. 香美市社会福祉協議会 香美市地域の集いリーダー研修会 (災害への備え) 講師 2019年8月23日
9. 日本栄養士会 JDA-DAT リーダー・スキルアップ養成研修 運営委員 2019年9月21日～23日

10. 域学共生連携拡大会議 災害×県大 講師 2019年9月12日
11. 進学ガイダンス 講師 高知高等学校 2019年10月30日
12. JDA-DAT（日本栄養士会災害支援栄養士）スタッフ育成研修 講師 2019年7月14日
13. 高知県防災士養成講座 講師（四万十市 安芸市 香南市 高知市）
2019年11月10日12月1日12月8日12月15日
14. 平成30年度高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業
第7回慢性疾患料理教室 2019年12月7日
15. 南国市立十市小学校 6年生交流学習 2019年10月15日
16. 職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の
力量アップのための講座 講師 2019年10月20日、2020年2月9日
17. 高知市合同防災訓練災害食教室 講師 2019年10月27日
18. 森永ヒ素ミルク患者の会 災害食教室 2020年1月18日
19. 健康長寿センター事業 災害に強い専門職育成事業～地域特性に対応した災害対策研修プ
ログラム開発～ 災害時の対応～食事管理を中心に～ 講師 2020年2月13日
20. NHK 高知放送局 こうちいちばん サバイバルメシコンテスト 2020年2月14日放送
21. 第33回高知県国保地域医療学会 特別講演講師・助言者 2020年2月22日

V. 研究助成

- 【学外】ラオスにおける顧みられない熱帯病（NTDs）の1つ、寄生虫感染症のコントロール対策に関する保健教育支援（高知大学）JICA 草の根プロジェクト 2年間 990万円

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学 I
- ・臨床栄養学 II
- ・臨床栄養学 III
- ・臨床実践栄養学
- ・介護論(オムニバス)
- ・栄養学 (看護学科、オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・食と介護 (オムニバス)
- ・卒業研究

【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・栄養・生活特論 I (オムニバス)

【非常勤】

- ・高知情報ビジネス&フード専門学校 製菓製パン学科 食品学

II. 研究活動

【著書】

1. 竹井悠一郎 (2019) 臨床栄養学 基礎から学べる (多賀昌樹編著), p224 - 243. (16章 筋・骨格系疾患、17章 免疫とアレルギー疾患, 感染症担当) アイ・ケイコーポレーション, 東京

【論文】

1. Masuda M, Yamamoto H, Takei Y, Nakahashi O, Adachi Y, Ohnishi K, Ohminami, H, Yamanaka-Okumura H, Sakaue H, Miyazaki M, Takeda E, Taketani Y (2020) All-trans retinoic acid reduces the transcriptional regulation of intestinal sodium-dependent phosphate co-transporter gene (Npt2b). *Biochem J.* **477(4)**, 817-831.
2. Minamizaki T, Nakao Y, Irie Y, Ahmed F, Itoh S, Sarmin N, Yoshioka H, Nobukiyo A, Fujimoto C, Niida S, Sotomaru Y, Tanimoto K, Kozai K, Sugiyama T, Bonnelye E, Takei Y, Yoshiko Y (2020) The matrix vesicle cargo miR-125b accumulates in the bone matrix, inhibiting bone resorption in mice. *Commun Biol.* **3(1)**, 30.

【学会発表】

1. 竹井悠一郎、山之内大、渡邊浩幸 石灰化抑制因子ピロリン酸による動脈瘤形成の抑制効果 第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部会, 高知 (2019. 10. 27)
2. 山本浩範、石黒真理子、竹井悠一郎、中橋乙起、増田真志、竹谷豊 食餌性リンは Nuclear factor-E2-related factor 2 を介し酸化ストレス応答・解毒関連遺伝子の発現を調節する 第66回日本栄養改善学会学術総会, 富山 (2019. 9. 7)
3. 隅田有公子、竹井悠一郎、村上尚、稲井玲子 高齢化率 44.6%地域における高齢者の健康長寿に対する取り組み 第66回日本栄養改善学会学術総会, 富山 (2019. 9. 6)

III. 委員会活動

1. 共通教育部会員
2. 国際交流センター員
3. 遺伝子組換え実験安全委員
4. 動物実験委員
5. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会員

6. 池事業場衛生委員
7. 学部教務委員
8. 国際交流 WG 員
9. 臨地実習委員
10. 学年担当 (2017 年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会正会員 (評議員)
2. 日本栄養・食糧学会正会員 (参与)
3. 日本ビタミン学会正会員
4. 日本骨代謝学会正会員
5. 日本歯科基礎医学会正会員
6. フードサイエンスフォーラム正会員
7. 米国心臓学会正会員
8. 日本栄養士会会員
9. 高知県栄養士会会員 (生涯教育委員会委員)
10. 高知県産学官連携会議運営委員
11. IoP プロジェクト研究推進部会員 (中課題サブリーダー)

【講演・講習会】

1. 池デイ (ヴェネチア・カ・フォスカリ大学留学生) 講師 2019 年 5 月 30 日
2. 岡山県立一宮高等学校出前講座 講師 2019 年 6 月 19 日
3. 2019 年 域学共生れんけい拡大会議 講師 2019 年 9 月 12 日
4. 職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 -高齢者ケア力の向上に向けて- 「生活習慣病の治療と予防」講師 2019 年 10 月 19-20 日
5. 高知県栄養士会生涯教育実務研修会 講師 2019 年 12 月 21 日
6. 職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 -高齢者ケア力の向上に向けて- 「高齢者の食生活と住環境」講師 2020 年 2 月 8 日

【その他】

1. 高知県栄養士会生涯教育実務研修会 スタッフ 2019 年 7 月 20 日
2. 高知県栄養士会生涯教育実務研修会 スタッフ 2019 年 11 月 30 日
3. 高知医療センター・高知県立大学包括連携事業 特別セミナー オーガナイザー
2020 年 1 月 20 日

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤 C 平成 31 年度 「食用カンナデンプンの食物アレルギー予防効果と免疫機能への影響」 研究分担者 10 万円

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学実習 I
- ・臨床栄養学実習 II
- ・臨床栄養学臨地実習 I (共担)
- ・臨床栄養学臨地実習 II (共担)
- ・臨床実践栄養学 (共担)
- ・地域実践栄養学臨地実習 (共担)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・土佐の食と健康 (共通教養)
- ・チーム形成論 (共通教養) (共担)
- ・専門職連携概論 (共通教養) (共担)
- ・地域学実習 I (共通教養)
- ・域学共生実習

【その他】

- 訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の工夫」(前期・後期)
- 職業実践力育成プログラム (BP) 「チームアプローチ I」
- 職業実践力育成プログラム (BP) 「チームアプローチ II」

II. 研究活動

【学会発表】

1. 廣内智子, 島田郁子, 村上尚, 津野美保, 森田陽子. 被災地での巡回栄養相談における避難者とのコミュニケーションのあり方. 日本災害食学会第7回研究発表会, 東京(2019.8.24-25)
2. I.Shimada, C.Tokuhiro, S. Numata, T.Hirouchi, K.Watanabe, and T.Okamoto. Survival cooking as disaster education For students and local residents . (ICTEL 2020) , Dubai (2020.2.16-17)

III. 委員会活動

1. FD 委員
2. 災害対策プロジェクト委員
3. 入退院支援事業委員
4. 管理栄養士国家試験対策委員
5. 臨地実習委員
6. 学年担任 (2019 年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人 日本栄養士会会員
2. 社団法人 高知県栄養士会会員
3. 日本災害食学会会員
4. 日本臨床栄養学会会員
5. 日本臨床栄養代謝学会会員
6. 日本病態栄養学会会員
7. 日本栄養・食糧学会会員
8. 日本咀嚼学会会員

9. 日本栄養改善学会会員
10. 高知県栄養士会 JDA - DAT スタッフ養成研修運営委員

【講演・講習会】

1. 学校訪問（高知高校）「高知県立大学健康栄養学部の紹介」、講師、2019年6月7日
2. 学校訪問（春野高校）「高知県立大学健康栄養学部の紹介」、講師、2019年6月18日
3. 訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の工夫」、講師、2019年6月19日
4. 夜須小学校出前講座「巨大地震に備え今すべき食料備蓄」、講師、2019年6月22日
5. JDA-DAT スタッフ養成研修会、運営、2019年7月13-14日
6. 退院支援事業「第2回多職種協働研修」、ファシリテータ、高知城ホール、2019年7月16日
7. 県大立志塾「災害時の避難所運営について」、講師、池キャンパス、2019年7月20日
8. 退院支援事業「第4回多職種協働研修」、ファシリテータ、高知城ホール、2019年9月12日
9. 学校訪問（善通寺高校）「高知県立大学健康栄養学部の紹介」、講師、2019年6月18日
10. 学際的交流サロン「西日本豪雨での栄養支援活動について」、講師、2019年10月28日
11. 退院支援事業「第5回多職種協働研修」、リアルカンファレンスの管理栄養士役及びファシリテータ、高知城ホール、2019年10月29日
12. 高知県保育士会第2回給食部研修会「災害時における園児への栄養・食生活支援」、講師、ふくし交流プラザ2階、2019年11月5日
13. 訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の工夫」、講師、2019年11月20日
14. 公開講座「災害に備えた非常備蓄食の考え方」、講師、須崎市役所、2019年11月30日
15. 包括連携・健康栄養学部FD研修会「合同災害訓練の振り返り」、講師、2019年12月23日

【その他】

NHK 高知放送（とらじお）「備蓄について」、ゲスト出演、2020年2月3日

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学実習 I (補助)
- ・臨床栄養学実習 II (補助)
- ・地域公衆栄養学実習 (補助)
- ・健康情報論実習 (補助)
- ・食と介護 (実習) (補助)
- ・臨床栄養学臨地実習 I (補助)
- ・臨床栄養学臨地実習 II (補助)
- ・地域公衆栄養学臨地実習 (補助)
- ・地域実践栄養学臨地実習 (補助)
- ・管理栄養士総合演習 I (補助)
- ・臨床実践栄養学 (一部補助)
- ・栄養と健康 (共通教養)
- ・地域学実習 I (共通教養)

【非常勤】

- ・RKC 調理製菓専門学校 調理師養成課程 食品と栄養の特性 (栄養学担当)

II. 研究活動

【学会発表】

1. 森下安子, 小原弘子, 中井美喜子, 隅田有公子, 池田光徳. 「地域ケア会議評価指標」を用いた「地域ケア会議」の評価, 第 24 回日本在宅ケア学会学術集会, 宮城 (2019. 7. 27)
2. Reiko Aramaki, Yukiko Sumida. Analysis of Dietary Intake Status in Young Japanese Adults by Lipid Energy Ratio Stratification, Asian Congress of Nutrition 2019, Indonesia (2019. 8. 7)
3. 隅田有公子, 竹井悠一郎, 村上尚, 稲井玲子. 高齢化率 44. 6%地域における高齢者の健康長寿に対する取り組み, 第 66 回日本栄養改善学会学術総会, 富山 (2019. 9. 6)

III. 委員会活動

1. 図書館委員
2. 土佐市地域ケア会議推進プロジェクト委員
3. 臨地実習委員 (学部)
4. 立志社中実行委員
5. 学年副担当 (2017 年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 公益社団法人 日本栄養士会会員
2. 公益社団法人 高知県栄養士会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 日本病態栄養学会会員
5. 日本臨床栄養代謝学会会員
6. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会会員
7. 日本未病学会会員
8. 公益社団法人 高知県栄養士会 はちきん編集委員

【講演・講習会】

1. 介護食士 3 級養成講座「高齢者の栄養学」2019 年 9 月 28 日

【その他】

1. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No life～」担当教員
2. 岡山県立西大寺高等学校進路ガイダンス学部説明 2019年7月24日

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費補助金 若手研究 (B) : 平成 29-31 年度「臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案」

助教 竹本 和仁 (TAKEMOTO Kazuhito)

I. 教育活動

【学部】

- ・生化学実験（補助）
- ・基礎栄養学実験（補助）
- ・環境衛生学実習（補助）
- ・運動生理学（補助）
- ・地域学実習Ⅱ（補助）

【非常勤】

- ・RKC 調理製菓専門学校

II. 研究活動

【学会発表】

1. 井治賢希、竹本和仁、川村真美、吉屋志朗、大石和成、谷本佳史、渡邊浩幸. イタドリ葉部に含まれるポリフェノール類の定量と食品機能について. 第73回日本栄養・食糧学会大会. 静岡 (2019年5月)
2. 竹本和仁、井治賢希、川村真美、吉屋志朗、大石和成、谷本佳史、渡邊浩幸. イタドリ葉部抽出物が高脂肪食マウスに与える影響. 第73回日本栄養・食糧学会大会. 静岡 (2019年5月)
3. 山田晋行、井治賢希、竹本和仁、川村真美、谷本佳史、渡邊浩幸. 肝細胞へのアミノ酸添加がメチル化代謝物量の変化に与える影響. 第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会. 高知 (2019年10月)
4. 竹本和仁、井治賢希、川村真美、吉屋志朗、大石和成、田中守、渡邊浩幸. イタドリ葉部の80%エタノール抽出物による抗アレルギー作用. 第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会. 高知 (2019年10月)
5. 竹本和仁、井治賢希、川村真美、山田晋行、渡邊浩幸. ネオクロロゲン酸高含有イタドリ葉抽出物が高脂肪食マウスに与える影響. 第40回日本肥満学会. 東京 (2019年11月)
6. 渡邊浩幸、井治賢希、川村真美、山田晋行、竹本和仁. 高脂肪食マウスに対するアシル化ステロール配糖投与による体脂肪蓄積抑制効果とそのメカニズム. 第40回日本肥満学会. 東京 (2019年11月)

III. 委員会活動

1. 情報処理部会委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 若手栄養学研究者の集い会員
3. 日本食品科学工学会会員
4. 社団法人日本農芸化学会会員

【講習・講演】

1. 本山町・高知県立大学・高知短期大学公開講座 「夜學」2019 食物アレルギー～ 一生食べられないの？ 講師 本山町プラチナセンター 2020年1月8日

【その他】

1. 高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会連携事業「第8回慢性腎臓病のための料理教室」運営委員 2019年12月7日
2. 第8回ものづくり総合技術展 本学展示協力 高知市 2019年11月7日～11月9日

I. 教育活動

【学部】

- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・給食経営管理実習 I・II (補助)
- ・地域実践栄養学臨地実習 (補助)
- ・給食経営管理臨地実習 (補助)
- ・管理栄養士総合演習 I (補助)
- ・応用栄養学実習 (補助)
- ・環境衛生学実習 (補助)
- ・栄養学 (オムニバス) (看護学部)

【非常勤】

- ・学校法人龍馬学園 高知情報ビジネス専門学校 製菓製パン科 栄養学
- ・高知大学 教育学部 食品学

II. 研究活動

【学会発表】

1. 島田郁子、庵原史佳、土井麻緒、濱田紗和、杉本美佳子、野本友華、森 恵美、沼田 聡、四万十トマトを活かした新メニュー開発への挑戦, 第 6 回日本栄養改善学会四国支部学術総会, 徳島 (2019. 4. 27)
2. 島田郁子、沼田 聡、災害時対応につながるサバイバルメシ学生の災害時教育, 第 15 回日本給食経営管理学会学術総会, 愛知 (2019. 11. 23~24)
3. 沼田 聡、島田郁子、卵白アレルギーであるオボアルブミンに対する高感度酵素免疫測定法の開発 (第 2 報), 第 15 回日本給食経営管理学会学術総会, 愛知 (2019. 11. 23~24)
4. I.Shimada, C.Tokuhiro, S. Numata, T.Hirouchi, K Watanabe, T.Okamoto. Survival cooking as disaster education for students and local residents, International Conference on Teaching, Education & Learning 2020, Dubai (2020. 2. 16~17)

【その他】

III. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. 臨地実習委員 (学部)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 公益社団法人日本栄養士会会員
2. 公益社団法人高知県栄養士会会員
3. 日本栄養食糧学会会員
4. 日本栄養改善学会会員
5. 日本給食経営管理学会会員
6. 日本食品保蔵科学会会員
7. 日本臨床化学会会員

【講演・講習会】

1. 松山中央高校主催 「食べ物は体の中でどうなるの？」講師 松山中央高校（愛媛）2019年7月4日
2. さんぼう主催「管理栄養士ってなに？」講師 西条高校（愛媛）2019年12月5日
3. 高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会連携事業「第8回慢性腎臓病のための料理教室」運営委員 高知県立大学池キャンパス（高知）2019年12月7日

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費補助金 若手研究（B）：平成31 - 令和2年度「ハラル制度対応に向けた豚由来タンパク質に対する超高感度同時酵素免疫測定法の開発」

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験
- ・生体科学実験・実習
- ・土佐の食と健康 (ゲストスピーカー)
- ・地域学実習 II

II. 研究活動

【その他】

1. 松崎淳子, 彼末富貴 (2019) 令和元年度版ファミリー日誌「四方竹」. 全国農林統計協会連合会 192-193, 261
2. 彼末富貴, 永野貴代美 (2020) うまいもんレシピ「えんどう豆」. 玉手箱 Vol. 114. (社福) 高知県社会福祉協議会, 12

III. 委員会活動

1. 学部広報委員
2. 学部報編集委員
3. 学年副担当 (2018 年入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 農林水産省「地域の食文化の保護・継承事業」
高知県地域検討委員会委員
2. 高知市春野郷土資料館運営審議会委員
3. よい食生活をすすめるネットワーク役員
4. 土佐伝統食研究会会員
5. 社団法人日本調理科学会会員
6. 日本栄養改善学会会員
7. 社団法人日本家政学会会員
8. 公益社団法人日本栄養士会会員
9. 公益社団法人高知県栄養士会会員

【講演・講習会等】

1. くらしの植物教室②「酢みかんしぼり～ゆず酢を作ってみよう!～」講師 高知県立牧野植物園 2019年10月19日
2. 潮江東小学校5年「土佐の雑煮」の学習 講師 高知市立潮江東小学校 2019年12月16日
3. ソーレまつり2020 親子でご飯づくり～魚を3枚におろしてみよう～ 講師 こうち男女共同参画ソーレセンター 2020年1月25日
4. 牧野植物園ボランティア懇親会「高知の食文化について」講師 高知県立牧野植物園 2020年2月11日

【その他】

1. 高知県・公益財団法人高知県産業振興センター主催、第8回ものづくり総合技術展 本学展示協力 高知市, 2019年11月7日～9日

I. 教育活動

【学部】

- ・食品学実験 I
- ・食品学実験 II
- ・食品衛生学実験
- ・栄養教育論実習 I
- ・栄養教育論実習 II

II. 研究活動

【学会発表】

国内学会

1. 井治賢希、竹本和仁、川村真美、吉屋志朗、大石和成、谷本佳史、渡邊浩幸. イタドリ葉部に含まれるポリフェノール類の定量と食品機能について. 第 73 回日本栄養・食糧学会大会. 静岡(2019 年 5 月)
2. 竹本和仁、井治賢希、川村真美、吉屋志朗、大石和成、谷本佳史、渡邊浩幸. イタドリ葉部抽出物が高脂肪食マウスに与える影響. 第 73 回日本栄養・食糧学会大会. 静岡(2019 年 5 月)
3. 山田晋行、井治賢希、竹本和仁、川村真美、谷本佳史、渡邊浩幸. 肝細胞へのアミノ酸添加がメチル化代謝物量の変化に与える影響. 第 52 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会. 高知(2019 年 10 月)
4. 竹本和仁、井治賢希、川村真美、吉屋志朗、大石和成、田中守、渡邊浩幸. イタドリ葉部の 80%エタノール抽出物による抗アレルギー作用. 第 52 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会. 高知(2019 年 10 月)
5. 竹本和仁、井治賢希、川村真美、山田晋行、渡邊浩幸. ネオクロロゲン酸高含有イタドリ葉抽出物が高脂肪食マウスに与える影響. 第 40 回日本肥満学会. 東京(2019 年 11 月)
6. 渡邊浩幸、井治賢希、川村真美、山田晋行、竹本和仁. 高脂肪食マウスに対するアシル化ステロール配糖投与による体脂肪蓄積抑制効果とそのメカニズム. 第 40 回日本肥満学会. 東京(2019 年 11 月)

III. 委員会活動

1. 学部就職支援担当委員
2. 学部親交会運営委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本肥満学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 公益社団法人 日本栄養士会会員
5. 公益社団法人 高知県栄養士会会員

【その他】

1. 高知県・公益財団法人高知県産業振興センター主催、第 8 回ものづくり総合技術展 高知市 (2019. 11. 7～9) 本学展示ブース準備運営協力スタッフ
2. 高知大学 大学教育創造センター主催、障がいをもつ学生の理解と支援、FD・SD 共通/SPOD 加盟構内講師派遣プログラム、(2019. 6. 26) 参加、
3. 高知県主催、Next 次世代型施設園芸技術フェア、高知市(2019. 8. 6～7) 本学展示ブース準備運営協力スタッフ
4. 高知医療センター栄養局勉強会、OTSUKA Live on Nutrition Seminar なぜ、いま心不全に栄養なのか?～管理栄養士の立場から～、高知市 (2019. 12. 5) 参加
5. 高知医療センター・高知県立大学 包括的連携事業 特別セミナー、Vascular Surgery in the US. ～アメリカにおける血管外科の現状～、高知市(2020. 1. 20) 参加

高知県立大学健康栄養学部 学部報 第10号
令和元(2019)年度版

発行日：令和2年10月1日

編集：高知県立大学健康栄養学部 学部報編集委員

発行：高知県立大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池 2751 番地 1

電話 (088) 847-8700(代)